

生懶飯ナツキはあなたに…も、負けましたね。♪
～強がりボーカルのよやよわ體を低音アクメ～

2021/09

回人音声サークル『ライオクラライオ』

この版本データは初稿バージョンです。実際の音声と異なる箇所がござります。
ト書きはほぼそのままですが、特殊文字や一部ワードは公開用に省いています。

1-1_寒はね料理上手なナツキ

雷雨明けの、晴天の朝。

小鳥たちがさわやかに、屋根にたまつた木の葉がぽたりぽたりと滴り落ちる。

主人公、ナツキのベッドで眠っている。

ナツキ、部屋を覗いて主人公を呼ぶ。

《◆正面やや右/100cm》

ナツキ1 「おー。こつまで寝てんだー？」

起きない。

ナツキ2 「うたぐる」

ナツキ、部屋のカーテンを開けに歩く。

《◆右後ろ/50cm 動きながら》

ナツキ3 「お前が寝坊したる一睡もすこいつひてんだる♪」

一気にカーテンを開ける。

ナツキ4 「ほれ♪ いい天氣だぜ♪」

ナツキ5 「あんなに大雨だったのに、すっかり晴れてやがる」

主人公、布団をかぶる。

《◆右前/30cm 動きながら》

ナツキ6 「んあ、布団かぶんなー」

《◆布団をぬぐるみたいに、ドリードリ『』》

ナツキ7 「せ、起きたー。へつかー」の布団アタシんだからー。
堪能すんなー。つたぐわー、くすー」

《◆右端/10cm 近づく》

ナシキ8 「あー。 ハハロノ姿でわりいか? 似合つてんだ
ね~。」

《◆右端/30cm 離れる》

ナシキ9 「叫べ題もねべと、 韶」せん捨てんべ~」

ナシキ10 「主人公、 すぐ起れ上がる。

《◆正面/30cm》

ナシキ11 「おせせ~、 題もたな~、 え[冗談だつて]~」

《◆正面/10cm 遠づく》

ナシキ12 「おせせ~、 題もたな~、 え[冗談だつて]~」

ナシキ13 「へへへ、 一晩中キスしてたつての」、 また欲しく
なつたがつた」

ナシキ14 「ん、 わせ~」

ナシキ15 「いあんな~、 韶の顔ひよせ~」

ナシキ16 「わせ~、 わせ~、 せぬ」

ナシキ17 「……おと~ | 回」

ナシキ18 「わせ~、 わせ~、 わせ~、 わせ~、 わせ~、 わせ~、
わせ~」

キッチンからオーブンのベルの音。

《◆正恒/30cm すいと離れる》

ナツキ一九

「んあっ、オープントから出せねえと」

『小説の裏』は小説で、

十一

《◆四畳/50cm》

ナシキ21

۱۵

ナツキ、キッチンに向かう

◆田舎卒業/100cm

ナツキ22

「たのんだ！」

ナツキ、朝ごはんを持つてくる。

◆出場/30cm 燐くからぬ柴也ながる

ナツキ24

「今日は新作♪ 生ハムとアボカドのサクサクトース

「どうやあ♪ すぐえだろ?」

ナツキ 28

「シヨウをぱりっとあぶす。

ナシナ

「あはは♪ 一応料理部だぜ？」んくらいのもんしあしねえと♪

ナシキ 30

「えへ。うへ。かよこ叫び声をしたナシキ」

ナシキ 31

「えやうごいのせいかわせー。余ゆる程に食べやがれ」

ほひゃ

主人公、栄養たっぷりのトーストを一口。

ナシキ、食べる盤面をじっと睨みぬ。

ナシキ 32

「（一瞬）」

ナシキ 33

「えいへだいへ」

おこづか——。

ナシキ 34

「へくへ、わいか」

ナシキ 35
「あ、アタハも一口……や、こよ。先食べちゃつたら。」
「——口だけ……あー」

ナシキ 36
「あむへ、もぐもぐ……ふー、うそ」

「ぐるみ入れてもいいかもな」

ナシキ 37
「分かんなばー。毎日食いつかや分かぬといなんだ

るへ、わあ」

ナシキ、立ち上がりて抜度く。

《◆両国ややく/50cm 飾りながら》

「あ、学校の抜度しねや。食いつとけ食いつとせ」

抜度中のナシキと会話。

《◆両国ややく/100cm》

ナシキ 40
「……（ちよつと躊躇）……」

ナシキ 41
「ふーー。今田せ遅くなーー。そつかあ」

ナシキ 42
「なんが田事へ」

(体を見せる感じにくねくね動く)

ナツキ 57
「『れやべえよなあ。『テカ尻見えつぱなしだし』。
おひせいも、横からほみ出たまじやうだ♪」

(煽るように左右に動く)

ナツキ 58
「どーだあ〜。『れでえ、やいきの続き、してやれいつ
かあ〜、あはは♪』

#主人公、のそりのそりと近づく。

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 59
「あ、ああ……ちよ、田がマジじゃん」「

(少し不思議)

ナツキ 60
「それに……つ、そんなどすぐ、元気になるか?」

フツー

(横に田をさります)

ナツキ 61
「アタシの朝」はん、よつせじ栄養あつたんだなあ。
あはは……」

#主人公、そつとナツキを捕まる。

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 62
「こや、あの……お手柔らかに、頼むな?」

1-2H_黙HアロHの生意氣ナシヤH、静かひかひせぬわベシクム

眞摺ねう ピア。

ナホベラクドー翁へ回せじの♪スルハセガレル。

【★出画】

《◆出画/30cm》

ナシヰ 63

「おへ、おへ、せへ、あおあおああへ」

ナシヰ 64

「おヰ、黙ヒ、かじへ、幅いた、だらおへ、おひへ
ねお、おおおへ、おへ、あおあおへ」

【★『えだる』で鼎立画】

ナシヰ 65

「ふだぬへ、静ヒサムカム、おへム、アタシを匪賊や
かねうやうかおへ。ふへ、えへ、えへへ」

ナシヰ 66

「くくへ、今口せ貢士ねばへ、キヒトハ萬代にやねへ
かかへしりこめ、いのチコねどせへ」

ナシキ、奥をえぐるピストンで歯車の響を振る。

【★正画】（低音強調）

ナシキ 67

「ねいへへ、ねい、ねああへ、あい、あい、ハ、ハハ、
く、くあああへ、」「あ、たれこへ、わ、こわせかへ、
おおこへ、負け、まつしへ、こじへ、こじへ、
い、いじへへ」

低音アクメ。潮吹き。ピストン止まる。

ナシキ 68

「お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、
」「あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
た、あ、あ、」

余韻ドモリ一回瀧を吹いてしまへ。

ナシキ 69

「す、す、す、す、す、す、す、す、す、す、す、
イグ、（絶頂）」「う、う、う、う、う、う、う、
は、は、は、（痙攣）」「お、お、お、お、お、お、
は、は、は、」

声が震えて喉撓ちもやむ。

（倒れやう） ゆいへント

ナシキ 70

「」お、お、お、お、お、お、お、お、お、
（痙攣） お、お、お、お、お、お、お、

倒れやうなナシキ、後ろから抱かれる。

《◆お籠/10cm 抱かれる動き》

ナシキ 71

「ふ、ああ、」

ナシキ 72

「なんだよ、おなこへ、」

ナシキ 73

「倒れやうだつたか？」せせ、ありがとな」

【★『はあ、はあ』で振り向く】

ナツキ 74

「はあ、はあ……なあ。せつかの、続き♪」

《◆正面/0cm》【★首傾げでキス】

ナツキ 75

「はあ、ちゅ、れえるれる、ちゅ、れれる、れる
れる、ちゅう、ちゅつちゅ♪」

ナツキ 76

「くす、ちんせかたあ、んちゅ、昨日あんな
Hツチしたのに、まだこんな興奮出来んだ♪」

ナツキ 77

「ん♪ ちゅう♪ れえ、ちゅぶ、ちゅ♪」

ナツキ 78

「アタシ相手なら、無限にHツチ出来ちまうか?」

ナツキ 79

「えくへ、うるせえ♪ ちゅつちゅ、れるれる、
ちゅ、れえるれるれる、ちゅつちゅ、ちゅう♪」

【――から小声、耳元で吐息強調】

《◆左耳/0cm | 呼吸で移動》【★耳元】

ナツキ 80

「はあ、おひぱいも大好きだもんない、せつきから、
Hプロン中手突っ込んで、好き勝手揉みしだきや
がつて、あ、はつ、はあ♪」

ナツキ 81

「Hカッパおひぱいの感触はどうだあ?」

ナツキ 82

「あつ、じら、強く揉みすぎだ♪ これ以上
大きくなつたらどうすんだよ♪ ばか♪」

「そんながつつかなくても、逃げやしねえよ」

ナツキ 83

「むしろも……」んな、むちむちな体でいいんない

(でれでれ囁き)

ナツキ 85

「もつと、好きにして……ごいんだぜ」

密着したままピストン再開、だんだん早く。

ナツキ 86 「ああ～、は、あ～、あ、あ、あん、あ、あああ～」

「一秒2回ほどのピストン」。

ナツキ 87 「うあ、あ～、おちんぽ、効く～、あ～、ああ～」

ナツキ 88 「お腹～、「」うわ～、「」うわ～、「」うわ～、
後ろからぐぐの、マジ效く～、やべ～」来る～」

リズミカルに。時々低音に。

ナツキ 89 「は～、あ～、あ、ん～、お～、お～、いあ～」

ナツキ 90 「はあ、やつべ～、ん～、Hプロンから、おひぱい、
せみ出わせいた～」

【】か、上ト下揺れながら】

ナツキ 91 「ん～、ほ～、あ、ああああ～、ちょ、やめ～
わせと揺らすなあ～、うわ～、わあ～、やーあ～
パイズリみてえに、動かすなよ～」の変態～
あん～、おひぱいわせいた～、はあ、うあ、ああ～」

ナツキ 92 「くわ～、Hプロンで隣してたのに～、乳首が勃起
してて、お前にバソかまつた～、せあ～」

乳首を軽くつままれて、変な声が出る。

ナツキ 93 「あ、ああ～、おお、乳首つまんど、なにして……
は、めわか……やめよ～、今、乳首はだぬだ。
せつてえ刺激つええから。ほんと、マジ～、好きにし
ていいついたせ～。(期待) せ～、せ～」

【上下揺れおわり】

♪スティン | 四止める。

(でれでれ囁き)

「お願い。乳首は許して~」

乳首を優しく弄られて可愛い顔に。

(可愛めの声で、癒縛するよ／＼な声)

「あ……ああ……あああああ~ じじわる~」

「ん~ ん~ は、うううう~」

「そんな、可愛がつても、なんも面白くねえだろ~」

乳首カリカリ。

ナツキ98
「おひ、おおお~ 待って~ 先っぽ、カリカリ
はあ~(低) ああ~ それ、締まる~ ねまんこ~に
来る~ ん~ だめ~ 許して~」

小刻みに震える吐息。甘い絶頂。

ナツキ99
「は、は、は、乳首許して~ は、は、は、は、
あああ、じく~ じく~ チクイキしちゃ~ は、は、
は、は、ああ~(絶頂) あつ~ あく、くつ、え
へえええ~ は、は、は、は、は、いつてる時、乳首
なでなで、しないで~(低) あ、ああ~ は、は、
は~ もち~ ああ……あああ……~」

ナツキ100
「あ……またお前に、変な開発されちまつた……
ばかあ~ お前もやいやとイサよお~」

【★顔見る】

◆左前/10cm】【1】から普通の重量】

ナツキ101
「あ~ ベッドに寝るの~ なうで——」

【★1】^{ハニ}と正面】

《◆正面/30cm ブラックリップ伏せ、寝バック》

ナツキ102
「ハああ♪」

ナツキ103
「や、「れ寝バックじやん。アタシ」「れ……」」

【★『なあ』で振り向く】

ナツキ104
「なあ。他の体勢にしねえか? 正常位とか…」

昨日みたいにさ、いやいややつぱりワープされ…」

《◆正面/10cm ブラックリップのしかかられる》

ナツキ105
「あああ♪ 「あんな? 裸Hプロンなんかで挑発したアタシが悪かった。もう全部負けでいいからさ、ほら、時間もやべーしやー。な? な?」

ヤリF途中、奥まで一気に挿入。

ナツキ106
「だから、その……寝バックは……寝バックだけは、やめてくれだ(挿入)あああああ♪」

【★痙攣中やつぱり正面】挿入の余韻で絶頂。

ナツキ107
「(痙攣)あ、あ、ああ、ああ……終わつたあ……♪
イグ……イグう♪」

じきなりピストン開始。重量感のあるHッチ。

ナツキ108
「あああ♪ ひつ♪ ひいこ♪ 待つで♪ 待つで♪
いつでる♪ 今いつで♪ あつ、奥、だつめ♪ あつ、
とんとん♪ 奥とんとんやらあ♪ うあ♪ あつ、
いつ、イグ、あつ♪ (絶頂)あああ、ああ、ああ♪
は、あ、ああ♪ イギました♪ また、イギました♪
イギ♪ (淫)あつ♪ イつだつて聞つてるじやん♪」

ナツキ 109

「うああ、やあ、ああ♪ やーうあ♪ やー♪
やーあ♪ もうおちんぽ嫌あ♪ 学校いぐ♪
学校お♪ がつ」♪ 学校いぐ♪ てばあ♪
(低) こいぐ♪ こぐ♪ イグウツハハハ♪」

♪ストン止まる。放心状態。

ナツキ 110

「(絶頂) あああああ♪ (痙攣) ああ、あ、あ、
あ、あ、あ、あああ♪ これ、無理……学校むり♪
ずっとおちんぽがいい……はあ……あああ♪」

【★『むう』で振り向く】

ナツキ 111
「むう♪ だから寝バックはやなんだよお♪ 全然
逃げらんねえし♪ なんも抵抗出来なく♪ 一方的に、
お前のメスだつて♪ と、分からせれおむう♪」

ナツキ 112
「！」と、負けるに決まつたHツチ、アタシが好き
なわけねえだろ♪ 勘違いすんな♪」

【★左前くと抱かれながら止画面向く】

《◆左前/10cm 抱かれる》

ナツキ 113
「ねー、ねー、ねああ♪ あー、あー♪ ！」めんな
やふ♪ 嘘つをましだあ♪ 寝バック、すげえ好き♪
ねー♪ 抱きしめられんの、好き♪ もうと、ね願
いじます♪ (脚指) あー、あー、あああ♪」

《◆止画面/0cm》【★首傾けてキス】低音で囁く。

ナツキ 114

「ん、んん♪ ちゅれる、ん♪ れるれるちゅれ
る♪ ん、れるれるれるれる♪ はあ、あ、ん♪
んん♪ ちゅぶ、ちゅれる、ちゅう♪ んん♪」

#スヰリ回復も總復。

ナシキ 115

「わせへ、れいのれらへ、ん、ん、イグへ（總復）
んんんへへ、ん、んへ、れぬれぬ、んへ、お、イギキ
すへ、（總復） えねねへへ」

ナシキ 116

「せーへ、えちせん、れいぬ、れられられぬへ（總）
あ、ああへ、輝吹せ、しおかへ、「」あくねこへ
(總頂) おひへへ、せひへへ、おあおおへ お、
あああへ、(余韻) せあせおへ、んちせへ、えちせへ
たせじねせへ、んちせへへ、せあへ」

「四十五度へ四十五度。くとくへ。

《◆左前/10cm》【★櫻咲る】

ナシキ 117

「ああへ、イキルハカへ、輝か一よせやへ」

ナシキ 118

「だいたひ、後のたむれそ一ひと、思ふいやう想ふにて
ぐれへ」

《◆左前/10cm 左ぐわながく》【★咲】【六幅】

ナシキ 119

「ええへ めいへへ めいへだへ」

(じじせ豊や)

ナシキ 120

「盐田せわいへ、強く抱せしめだせへ。くわへ」

(眞土ぬと分かへてへ、ちよへじ根が靈れてる)

ナシキ 121

「アタシの」じが大好きだいへ、「力尻無し櫻すくへ
い、かついじこ母田しユヌヌヘ、キメてみるねへ」

ナシキ 122

「それとや、くにく口ヨヌヌヘへしか出来ないのか?
」の……クフギ口やくせへへ

【「」かの脚譜の帳囃】

《◆左端/10cm》 【★右端15cm】

ナシヰ 123 「ああ……♪」

一稔4回せうの叫へてハケハタカムヤコベトハ。

【「」かの脚譜回/10cm】

ナシヰ 124 「(轍) もいへ、あ、あ、あ、あ、(轍) ぐ、ぬ、
あああああへ、(轍) あ、えね、ぬ、ぬああああへ」

ナシヰ 125 「(轍) 嘴持ちこへ、(轍) 嘴持ちこへ、死ぬへ、
イヤジぬへ、いあ、あ、ああへ」

(スローパルス) (スローパルス) やなへて〇×)

ナシヰ 126 「せ、せ、せ、せ、せここへ、女あへ、大女あじあへ、

本廻せ、轍からヒシチしたがひたであへ、(轍) の、
轍立わあへせ覗て、おまえ」ぐわよぐわよになつてせ

したあへ、おむへせへ、(轍) おむへせおむへせ

欲しかつただらまへ、(轍) やいと黙へ、黙がここへ」

ナシヰ 127 「(轍) あいへ、あ、あ、せ、あ、あああへ、(轍)

アタシもね、盐田あふ、やいへ、やいとやいへ、

ねねえ」繰ぬますからおへへ、せ、せへ」

ナシヰ 128 「玉井口いの、やいとと轍波へ、(轍) ト轍口ハゲたれ
こへ、(轍) せ玉へ、しのるやねこへ」

— 番激しごくスム。興奮おひや。

ナシキ 129
「あ、あ、あ、あ、ひ、あ、ああ、ああああああ、
(耳元) 一緒、一緒、一緒がじこ、さあせあ、つ
る、一緒ね(戻る)」

(射精く、だんだん低音)。『こわがわ』強調)

ナシキ 130
「せ、せ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あああ、うぐ、
うぐ、うぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐ
(絶頂) ねねねうぐうぐ、ねいぐうぐ、ああああ、は、
ああ、」

《◆咲咲/0cm タイマー移動》【★耳元】【小瓶】

ナシキ 131
「あああああ、大好きこ、さあ、大好きこ、
(低) あああ、撫吹き、止まんなこ、(母) さく、
中出、嬢しへ、お出で、泣こむもつた、
あせせ(低) あ、また、吹き出す、
(絶頂) あああああ、ああ、あく、あく、ええ、
えくくく、せー、せー、せー、」

《◆咲咲/0cm》【★首懶カーテン】

ナシキ 132
「せあ、ふ」
ナシキ 133
「えねえ、ねえ、ねえ、ねえ、ねえ、ねえ、
ねえ、ねえ、ねえ、ねえ、」
(『監督見のよ』で少しひき)

ナシキ 134
「えいのせー、回繋ごとか皿つな、監督見のよ、
あと田舎で田ねー」
ナシキ 135
「ん、んん、れぬ、ねえ、ねえ、ねえ、ねえ、」
ナシキ 136
「キニギリおでこ」の声。ねえ、ねえ、」

ナニヤ 137

「ハタハ はー、ハタハ はー、ハタハ はー、
ハタハ、ハタハ、ハタハ、ハタハ、ハタハ、
ハタハ、ハタハ」

(1-2 END 3044 ハナ)

2-1_クレバの歌トドモハサトのナシキ

放課後。学校の一教室。

主人公がたまたま廻りかかつたといふ、
ナシキが一人の生徒をなだめていた。

【「」かひみ॥くに歌母を回士。歌母ち左右に
廻振り舟振りしながむ】

《◆両面/100cm》

「おお、やつ娘こ撫とあはつてー。」

(小ネタ。前回のナシキ539の校正)

「回廻い女せクレバニヒイセハシメだねー。」

ナシキ 140 「ん、アタシが…… | 番回廻いか~。」

(わよこ廻れ)

ナシキ 141 「んまたやハヒトム。」

ナシキ 142 「お前にせ、わいわい」「優しい女が恋合つと廻り
けじな。回じも廻ぬでくれぬもいなや」

ナシキ 143 「案外セゼニこねがもしんねーわい。 な?。」

ナシキ 144 「ねつ。落ち着いたか?」

ナシキ 145 「おりがとば、お出でいへね」

ナシキ 146 「えへ、じやなへ」

【「」から「」を覗く】

《◆正面/30cm 距離近づく》

ナッシュ 147
「あ……ああ、見てたのかよ」

ナッシュ 148
「…………」じりじりと壁のモアレだし、テキストに座つか

二人、教室に入る。もちろん、HACHのため。

《◆左前/50cm》（かよこ照れ）

ナッシュ 149
「（一呼吸）えへ。おひ。鍵、置めとこ……」

主人公、教室のドアを中から置める。

イスに座る。

《◆右前/30cm》

ナッシュ 150
「ふー……」

ナッシュ 151
「んー。そうだな、また昔いたつた♪」

ナッシュ 152
「もしかしてモテ期♪」

ナッシュ 153
「あはせ♪ 冗談だつて♪」

ナッシュ 154
「ふだよ♪ 気にしてる♪」

ナッシュ 155
「まあ、男友達に知られたら、可愛いつて言われちゃう、
懲らしめられるだろ」

少し心配そうな主人公。

《◆正面/30cm》

ナッシュ 156
「それといれさせないがーの♪」

ナッシュ 157
「あこつとは友達のまへまだから、なんも気にしない」

たあねえつて」

「告つてきたのがあいつで困かつたつて思つてゐるよ~、

素直だし、物分かりいい~」

ナツキ 159 「こ」の前来たやつなんかせ、思いつきり体田這ひだつ
たんだせ?」

ナツキ 160 「セーラー服ヤシもこねひで、むしろセーラー服ヤシ
ばつかー。」

ナツキ 161 「クラス見てりや分かんだる?」

ナツキ 162 「あー、男の田線じや分かんねーかあ」

ナツキ、立ち上がって主人公の隣へ。

《◆右/0cm 動きながら》【こ】から小声】

ナツキ 163 「うー、アタシが直々に教えてやるよ♪」

ナツキ 164 「朝一発田、クラスの男子におはよーうひで、最初
に見られたのは顔じやなくておひげこ♪」

ナツキ 165 「全校集会で体育館の床に座つて、太ももをチラ
見してくる変態ばっかり♪」

ナツキ 166 「徒競走なんかもつと最悪♪ みーんな揺れるおひげ
いしか見てねえの♪」

ナツキ 167 「ああ、水泳の時間のほうがもつと酷かつたつけな♪
ま、そこは想像に任せせるわ♪」

ナツキ 168 「くすくす、これで分かったか? こ」の学校つてさ、
アタシをエッチな田で見てくるスケベ男子が、セーラー
中にこいつぱいいんだよ♪」

ナツキ 169 「ビーセ、一発やりてえとか思つてんだるーなあ」

主人公、独占権をもつたビルの前へ歩き出す。

ナシキ 170

「ルハムシトホソナヒトヘ。」

【（）から壁】

ナシキ 171

「黙れヒホヘ。」

ナシキ 172

「アマハの効いた教訓で、このヒヤトタシヒト出くメ
セツクスレヒテのヒト、誰だヒテ。」

【（）から壁】

ナシキ 173

「へあ、アタシが他の男にならへねばだれ。」

ナシキ 174

「私の牆ヒ……ド眠るも」

ナシキ、スカートをぬぐ。

（）から壁

ナシキ 175

「スカートをぬぐヒー、下着を裏返すヒー」

【（）から壁、興奮状】

ナシキ 176

「せあせあ、我の壁の壁ヒの上にね、コロハロー
タ一、わやさんせきしてました、壁こだひ。」

ナシキ 177

「へあ、牆の壁ヒの上も牆かねバトタシが、
お腹ださうせ、セヒトハ済みハズ」

【（）から壁、興奮状】

ナシキ 178

「（苦悶）なーあ。ここ止まつたが、……

今田モ城井ヒコ、ヒコセヒトハズ

ナシキ 179

「おねがごへ。」

2-2H_あなただけに従順なナツキと、放課後独りでキスエッチ。

夕方の教室。

しゃぶりつく音と、重たいローター音が響く。

ナツキ、ローターに囁きながら、辛うじてピスト

二二三

◆正面下/30cm 股體の位置》

ナシヰ180
「んじゅぶ、じゅぶ、じゅぶ、じゅぶ、んんん
じゅぶ、じゅぶ、ん、じゅぶじゅぶ、ん、あん」

絶頂、潮を吹いてしまう。

「じゅふ、ん、んん♪ は、あ、ああ♪
(絶頂) あああああ♪♪

卷之三

ナツキ182 「は、はあはあ♪ またイキました♪ イッた♪ あ、ああ♪ イッたつひーの♪ (痙攣) う、うう、うう」

甘えた声。

ナツキ 183
「止めてくんねえの？ おまえ」やばい、ああん
はあんちやんと、勃起するまで？ うん、くそおん」

(口を開けて左右に動く)

ナシキ184 「ねー、あーー、ちんせぐれ、あー、」

にげんな、ああー、(涙) ああむ、」

より奥に出でるピーストーンハウ。壁紙。

ナツキ 185 「ん、じゅぱじゅぱ、じゅせじゅぱ、ん、じゅぱじゅぱ、じゅぱじゅぱ、かわいい、ふあふ」

ナツキ 186 「寝ぼ一つある、今から」のちんせいで、んふふ
ナツキ 187 「えじゅぱ、じゅぱじゅせ、じゅぱ、耳くねいわく
しらふ、むかふ、じゅぱじゅぱ、じゅせじゅせ、
じゅぱじゅぱふ」

叫做くすぐりゆうつな舐め。

(舐め音は『れるれる』と瓶を舐せぬ。セリフは

舐めながら舐る)

ナツキ 188 「さあ、んれえ、れるれる、れるれるれる、
」——「舐め方も好きだよな、れるれるれる、
裏筋も、んれるれる、カリ首も、んれえ、んれ
る、れるれる、れるれる、れるれる、ちゅふ」
「フル勃起じゃん、なあ、早くエッチしようね」

潮吹きで水たまり出来てんだよ、もう限界ふ」

激しくペニスを射精。腰も最高潮だ。

【「」から震えながら離る】

ナシキ 190 「あむ、 ジゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ、 ジュブンを
ふじゅぶじゅぶ、 ふふ、 ジュブジュブジュブ」

(絶頂に向けだんだん低音)

ナシキ 191 「またイハ、 ジュブジュブ、 イキます、 ジュブ、
ふん、 ジュブジュブ、 ふふ、 ジュブジュブジュブ
いわわわわわわ」

壁えながら絶頂。潮吹き。ローターが落ちる。

ナシキ 192 「ふ、 ふふふふふふ、 ふふ、 ふふふふふ」

【震えおねり】

男性器を離して、絶頂の余韻。声が震える。

ナシキ 193 「じゅせ、 せ、 せあ、 (低) あああ、 ああああああ
は、 ああ……あああ……ああ」

《◆H画面/10cm 手立ち上がりながら》

ナシキ 194 「せあ、 せあ」

床で震えるローター。

ナシキ 195 「せせ、 ローター落ちたまつた、 膣圧やさすめた
んかなー、 くす、 強くしゃめだバカ、 せあ」

ローター止める。

ナシキ、 男性器を触つておねだり。

ナシキ 196 「せひ、 なれたらとおり、 口だけで勃起させたぜ?
まだれのローブヨンもたつぱりやせといだ、
……叫べ」

挿入。軽くイク。

ナツキ 197 「ん、あ♪ あ、あ、あああ♪ はあはあ♪」

途中ドリーストーン開始。

ナツキ 198 「♪」めんなれ♪ 入れただけで、勝手にイヤホ」

一秒2回ほどの少しだら氣味なピストン。

【氣持ち上下に揺れる】

ナツキ 199 「ねい♪ わよ♪ あ、あだ♪ は、あ、うあ、
あ、せ♪」

ナツキ 200 「んなんだよ♪ そ♪ 今日やけにがつのレジや♪
はあはあ♪ お前、やつは城にしてくだり、やつを
の♪ ん、ん♪」

ナツキ 201 「アタシが周りの男子に、昔のれんの、そんな嫌
かあ?」

(『ズリネタにされんの』強調)

ナツキ 202 「アタシが周りの男子に、ズリネタにされんの、そん
な嫌か~?」

ナツキ 203 「やあわかやこいやべのー♪ あはせ♪」

「やつはヤコトリ♪ 顔みりや分かる♪」

ナツキ 204 「『いこひは俺の女だ。』こひは俺の女だー』 つて♪

ナツキ 205 オスの顔してペロペロしゃがいて♪ う、あ♪ は、
(低) あ、あ、ああああ♪」

ナシキ 206

「お前だけ、アタシの体せいかじやくへ
すぐねめく」へ、 あぐねいせこへ、 韻^カかへ。
ああんへ。 ゼ、 せあへ」

【上|下揺れ止める】

ナシキ 207

「なんであ、『暁^ハかねえの~』」

ナシキ 208

「何が、じやなへ~」

(髪を覗^{スル}みたじに顔を横に振る)

ナシキ 209

「せ、ひへ、せ、ひへ、アタシの」と毎回覗^{スル}だらり。

変化^ヒ暁^ハ士^ム」

(「」は横を見てぶつぶつ)

ナシキ 210
ナシキ 213

「うわー、や、せおまこー」とおせこしか見てねえん
だーへ、お前も体田崩^ハだつたんだなーへ、 最悪^ハ」

ナシキ 211

「いねく主人公。

(右に左に、主人公の様子を見るよハニ)

ナシキ 212

「あ、ああ……そんな、拗ねんなよつへ」

ナシキ 214
ナシキ 215

「せあへつたくへ、 しゃーがねえなあへ」

(まだ慣れない。恥ずかしい)

ナシキ 216

「こ、あはう田を睨^{スル}くなー~」

ナシキ 217

「お、ハ……可愛^ハアタシも、好きなんだな~。」れで、
元暁^ハにならか~」

(左右に動かながら、左の口を閉じる)

ナシヰ 218

「んこやあ……こやあ……、こやあこやあ」

ナシヰ 219

「拗ねながらくわば大きくなよ……」

ナシヰ 220

「むいへ、ウスヘー！回だかんないへ」

《◆右耳/0cm | 骨吸で動く》(六指、ゆいへ)

ナシヰ 221

「……本派かくせで、ペロペロ、ヒヒヒー、

リヤヒヘ」

『ピースヘン再開。【派持かくせで離れる】』

一秒の回、わのわよこも強じ壓ひれ。

《◆右耳/10cm》

ナシヰ 222

「うあああああへ、ぬ、おおおへ、あはせへ、最復活へ
ね前もかくせも連続すきへだへへ（低）ぬいへ
待つでわれイケへ、うぐへ（腰痛）おおおおへ
めへ、うぐかへへ」

低音、腰痛。ピースヘン止めるな。

ナシヰ 223

「ぬいへへ、あ、あはせへへ、あ、あおおへ、せ、
あああへ」

《◆右耳/10cm 動かながら》

ナシヰ 224

「（低）おうへ、奥へ、奥おうへ、ああおへ」

ナシヰ 225

「わのわよこ、わのわくなつてね。そんな腰しかい
たのかよへ（腰）あ、あああおへへ」

ナシヰ 226

「うだぐ、あれやこの、クシソウアコトだかんな」

《◆四回/0cm 開口レバ》

ナシヰ 227

「せあせあ」

(せわの山壁)

ナシヰ 228

「お福にしか、セヒトバ瞑せねバ」

「ハハハキス。ラズム曲ハ壁机。」

ナシヰ 229

「ふかみ、かみ、こ、こ、かまれる、れぐ、
わせり、れぐれぐれぐ、れぐれぐ、れぐ、

せあ、れぐれぐ、ん、かみ、れぐ、かみ」

ナシヰ 230

「ああい、れいれい、れぐれぐ、かみ」

ナシヰ 231

「髪切つたんだよー、髪アバカ」

ナシヰ 232

「せむ、れるれる、れるれるれ、んかみ」

ナシヰ 233

「アタハのいじ、もひじじのせご瞑ひ、んかみ、

わせ、今や田バ瞑じんな、口こキス顔、すいと
見ひあひの」

「口をフヒキルも「なキス。撫ひリバムの壁机。」

ナシヰ 234

「ああむ、シキジキモセ、れるれ、シキジ、ん
く、れぐれぐじき、れぐれぐじき、せあ、髪

持かじこ、れぐじき、シキモジモシ、んく」

「キスしながら吹き出せ。」

ナシヰ 235

「」ふんまたイク、れる、キスしながらイク、ん、
ん、(感) イクト、瞑ひ、アタシがトくるヒ、
ん、じき、れぐれぐれぐ、(絶頂) ふんふん、
ん、れぐ、れぐ、ん、れる、ん、ん、ん、れる、
ん、ん、れぐ、れる、れる、ん、

【上ト盤お山の】

余韻で甘ごくロキス。ピストン止揚。

ナシヰ 236 「はああへ れべるれらへ はあへ」

◆凹面/10cm 露れる

ナシヰ 237 「はあ、はあへ へあへ」

ナシヰ 238 「ハピーネカシム、ぬよこ短くしたの……」「うつかな」

ナシヰ 239 「ふくら、一度と見送るんじやねーんへ」

ナシヰ 240 「むへへ、少かいたゞ、もひとペロペロヘ」

◆丸耳/0cm 抱きつづく

ナシヰ 241 「ああ、はあへ」

セイだらシルベヌハ申聞。甘鳴に近い甘口聲が、
優しく耳鳴る。

ナシヰ 242

「ん、れるへ れべるれぬへ はあ、れるれる、れる
れるれぬへ はあ、れべるれぬへ れべるれる、はあ
はあへ れる、れるれるへ」

ナシヰ 243

「さあ、ああへ 他の駅に叩かれた教室で、なにやつ
てんだから、れべるれる、れべるれる、はあへ」

ナシヰ 244

「れいわせじ、甘酸りせじ青春の匂いが、
じじたはすなんだけどなへへ ん、んはあへ」

ナシヰ 245

「咲全にグスクぐな匂いに塗り替えられてやるのへ」

(「」は低音、囁き)

ナシキ 246

「ん♪ んお♪ ちんぽかでぇ♪ あ、あああ♪」

ナシキ 247

「他の男はズリネタにしていい士官や♪ お前は躊躇もんな♪ とひよのねまえ♪」が来回し放題♪」

ナシキ 248

「アタシを想ひしる気分はどーだあ? やまあみらいで感じ~♪」

ナシキ 249

「おせせ♪ バレたらあら付くわー。野子全員にエッチられるわー♪」

ナシキ 250

「なーんじ、エーデモこうよなー♪」

ナシキ 251

「放課後に教室セックスすんのは、アタシの特権なのに、さああ♪ 何回潮吹きしたかも分からねえ床の上で叫ぶれてもさ♪ (低) んん♪ ほお♪ こいつちは生ハメ待ちだつてーの♪」

(畳みかけのよつて)

ナシキ 252

「授業終わつた♪ お前に会ひたい♪ セックスしたい♪ まだかな♪ こつづかな♪ 今日は何してくれんのかな♪

おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪

《◆巨乳/10cm | 呼吸で移動》

ナシキ 253

「……大好きなお前♪ 放課後エッチすんの♪ ローター遊びしながら♪ ドリル待ちしてたんですけど♪」

(愛情じゅぱこ)

ナシキ 254

「アタシの「♪」人にすんな♪ 」のサウンド波♪」

♪ステンが激しくなる。

左の耳舐めく。壁舐めじらの舌撫。

◆左耳/0cm 舐めいへ

ナシキ 255
「せ、せあへ」

ナシキ 256
「せむへ れるれるれるれるへ んはあへ れるれる、
れるれるへ せあへ んふへ れるれるれるれるへ
はあ、れゑる、れるれるへ」

ナシキ 257
「アタシがどつかに行くわせねえだらへ 同回お前の
ちんせで分かられたと恥つてんだよへ」

ナシキ 258
「(淫) ああ、あああへ (女) もつ盡通のヒツチなん
て出来ねえ。セッテバ出来ねえへ」

ナシキ 259
「寝る壁だつて、お前を考へてやへ 嘴皿せじつ襲つ
てくれんだつてへ 一人でおもかや遊びしてんだ
ゼ?..」

ナシキ 260
「(淫) おひ、おおへ (女) まひとかへ、頭へ中お
前ばつかつへ」

ナシキ 261
「お前の声も、汗の匂いも、わゆつたれた壁のおつ
たかてもへ」

ナシキ 262
「忘れひてなくして……毎晩オカズにしかねいでねへ」

ナシキ 263
「れゑるれるれる、れるれるれるへ れゑるれるれるへ
れるれるれる、れるれるれるへ れゑるへ はあへ」

- ナシキ 264 「謹重に大おどり奉れ」おどなへ
ナシキ 265 「ドヤ……」

(スルハシムハリテベケグナ帳)
ナシキ 266 「お福の「レジナガルハルアヌト」——ひし、すつナエ
賛美せがでスのへ」

(トレンダ帳に変わる)
ナシキ 267 「ルスヘルゴ、心わ体や、お福の「レジナガルハルアヌト」
地の駄なんて無理に決せひトイジヤスヘ」

(ズモハリハシムハリテバカダ帳)
ナシキ 268 「お福のサベジヤナセヤダ。お福のわくセジヤナ
セヤヤナセドリモ」
ナシキ 269 「一井、お福のお嫁やスミナムカムアヘ、ニコトニキ
ルカムアヘ、コヒゼルヘ、コヒゼルヘ、回織がヒトケ
レヘ」
ナシキ 270 「せあせあヘ、廻足の、ハズメ一回だヘ」
ナシキ 271 「母丑ノラタハラタ、コトゼソコリヤヘ」

【「リリヌム御禪の帳図】
《◆出幅/10cm 出幅で縫わる、ハサス》
ナシキ 272 「ハ、ハあヘ」

本帳ヌヌヘン、底帳のベジニ體物也。
ナシキ 273 「あ、あ、あ、あああああああ、ねい、ねい、
ハ、あ、あ、あああああ、せ、おお、ホヤシ、
ホヤシ、帳持た、あおお、あおお、あおお、
せ、おお、おお、おおおおお、」

ナツキ、もうイキそう。キスをせがんでむさぼる。

◆四面/0cm) (『咲君、止め』まで超叫口)

ナツキ 274
「最後♪ 最後キスがいい♪ 早く♪ 早く古田や♪
は、は、はあむ♪ れるれるれる、れろれるれる♪
好き♪ れるれる、れるれる♪ 好き、好き♪ れる
れるれる♪ 大好き♪ れるれる、んん、れるれる♪
すきだよお♪ れる、けつこんしょ♪ れるれるれる、
んん♪ れるれるれる、んんん♪」

絶頂へだんだん低音に。

カツキ2/5
| も も し ハ ん も も し 来 る ハ れ ろ れ る れ る ハ
いくハ れ ろ れ る れ る、じゅ ふ じゅ ふ、いぐ、いぐハ
ん、れ る れ る、ん、れ ろ れ る、ん、ん、ん、ハ いぐうう
う、う、う、う、う「

絶頂潮吹き。口内をかき混ぜるキス。

ナツキ 2/6
「んんん♪♪♪ んん♪♪♪ れるれる、んん♪♪♪
れえるれるれる、ん♪ 「ちゅ」「ちゅ、ん♪ くちゅ
くちゅ、れえるれるれる、んんん♪ れえるれる、れ
れるれる♪ ん、んん、んんん……ん、んん♪」

余韻キス。口の中をゆづくりかわ戻せぬよハ」。
ナシキ277
「」ちゅ、」ちゅ、 ん、 くちゅ、 くちゅ、 ふー、
ふー、 ん、 れる、 れる、 んちゅ、 れる、
ちゅ、ちゅ、

◆上恒/10cm タハマ離れる》

二人の唇がゆっくり離れる。大量の涎の橋。吐息。

ナシナ 278

ナシヰ 279 「ト半端ないなってんだ！」
「うわやべや」

ナシヰ 280 「股も着替へねば？」

ナシヰ 281 「ふたへ お盆のナシヰへど、 離れてスパニー

秒で黒くなつたよなあへ」

《◆出団/0cm キスが盛りへなれ》

ナシヰ 282 「え、 かせへ かせへ、 かせへかせへ かせへ」

《◆出団/10cm》

ナシヰ 283 「えへ、 古巻こひにまへは、 まだ濡れねえんだか
、 まへ」

「じやね、 いの巻形も古巻こかへ。」

ナシヰ 284 「おせせへ、 おせへ 腹巻くじらこ腰に持つかひなへ」

《◆出団/0cm サベねねだら、 こかやこかや》

ナシヰ 285 「えへへ、 かせへ かせへかせへ、 かせへ、 かへ、
かせ、 かせ、 かせへへ」

3-1_ネカツヒで立たるトート

ネックカツヒの個性。

ナシキ、主人公の膝に座つて一緒にアーメを覗く。

【主人公にしか聞こえない押えた振量】

《◆右前/10cm ④主人公の膝に座つて前を覗てる》

「あー、お前を椅子にしつて覗ぬアーメモニ～～♪」

ナシキ 288
「あはせ～」

《◆主人公の顔を見る》

ナシキ 289
「あー」のセリフ好き♪

《◆前を見る》

ナシキ 290
「ハニス」

(※元ネタ 黒バス3期14話)

ナシキ 291
「『俺』勝てぬのせ……俺だけだ!」

(推しに限界になら振)

ナシキ 292
「ハニス」

ナシキ 293
「んでも」の後重たい語続くんだよなー」

ナシキ、後ろから胸を揉まれる。壁は我慢。

【（）から本をよじりながら】

「ん……んの～、んの～、んの～」

ナシキ 295
「ん、ハーカわあ、シシコスドレ～。」

ナシキ 296
「ややつこいつ意味じやない」

ナシキ 297
「なえどもひれかん、ん、おひせい揉んでんだよ」

ナシキ 298

「ハ、あハ、田の前にあるからって隠むなあー。
ステレス解消のアイテムじやねーんだから」

ナシキ 299

「無限もみもみー、パン盛さん」

虹の帳が玉る。

ナシキ 300

「あハ、ああハ」

ナシキ 301

「カカリやがハハ」

既に少し息を切らしてる。

《◆主人公の顔を見る》

ナシキ 302

「お前がその派なんハ、アタシにだつて作戦はあハ」

ナシキ 303

「勝負するハ、」の前と回シ、十分我慢ハ」

ナシキ 304

「今度はアタシがイクの我慢すつかハ、コベンジ
なハ」

【体をよじり終わフ】

ナシキ 305

「アタシが勝つたハ、」のアニメのボックス、企船ね
「」のトマト、トマト

ナシキ 306

「あハ、アタシがイチカヤヒタハ」

ナシキ 307

「まあ、お前の好きにすりやこごシヤス……ハ」

ナシキ 308

「でも、こいつもおふにやこかなこゝ思ひぢゃべ」

《◆右耳/0cm》【ハハかの壁キ】

ナシキ 309

「毎晩、おもかや遊びしていかれぬハ、わいお前の
指程度じや、イカセひよーとハ」

(『逃げても』を強調、挑発するもの)

ナシキ 310

「ド、ドーカーの。乗る。逃げてもこさう」

ナシキ 311

「おせせへ おたよねえだなへ ここや..
ト着に手入れたるスターーテなへ」

ナシキ 312

「あ、全然感じねえかもへ 先に轟いてくわ、マグロ
ド！」おへなーへ おせせへ」

ナシキ 313

「おえじや、十分畳のイキ我慢、スターーテへ」

(3-1 END 486 キリ)

3-2H_『咲ちゃん』 ルームウェアにて腰をハシク、密着腰を強調アタマメ。

眞摺ねえ口ア。

ナシキ、女達腰を優しくせんじなれ、スルルハリ
可憐へ體ぐ。

【「」かの體が、瓶を置くわ】

《◆叩時/0cm》

ナシキ 314 「」ふんたれこ、 飯土がしたお、 飯土たん

飯土トモカ、 もひトイモカ」

ナシキ 315 「GK×ボット黒ジヌ、 やぬトイヒルヤモコ」

ナシキ 316 「おく、 おも、 もひ、 十分経つてねか、 だめな
ことだわ、 瓶上めい、 あ、 イク」

底ご瓶の吐氣。螺旋絶頂。

ナシキ 317 「せ、 せあ、 せ、 せ、 せあ、 せあ」

ナシキ 318 「せこ、 ねわねやよこや、 岩井ちこじす、 誰も
もか、 あ、 ル、 ル、 ル、 ル、 ル、 ル、 ル、 ル、
おだいやぐ」

おだ吐息たっぷりに絶頂。

ナシキ 319 「あああ、 せ、 せ、 せ、 せあ、 あ、 せあ」

サマハ止める。

ナシキ 320 「せあ、 せあ……」

ナシキ 321 「ひ、 下着ずぶ濡れになつたもつた」

「綿パンがねべる、 後で買こう行くべー、

そんでお」れー、 分かったか、 つたへー」

【主人公にしか聞これない隠れた恨み】

《◆絵画/30cm 脚本ながら》

ナシキ 323
「ふ、せあ……」

ナシキ 324
「ビーカーをすくんだら」

ナシキ 325
「だるーと眠った。防音の個室選んで正解だつたわ」

ナシキ 326
「でも、あんまり大きこ瓶出したば、瓶口にやぐべな
な」

【「」かの懐かし、全体的に古風な懐懐】

《◆絵画/10cm 脚本ながら》

ナシキ 327
「やくせひ、！」のせつだ」

(トを脱ぐ) 挿入、軽くイク。

ナシキ 328
「脱がせるわ……ズボン脱いみすれだる……
透けしの盐、ヨウヒョウだつたら……ふ、せあ」

(悶え)

ナシキ 329
「お前は座つたまも、トタシが上じこかへ。」

ナシキ 330
「ハニカム、震れてつかひ、あぐ、せこつかな、せあ
せあ、ふ、ふふ、ふふふ、(呟) ああ、
ん、ああ、」

ナシキ 331
「せこ、イキおした、(呟) あい、」

ナシキ 332
「絶頂したての緋ねむけおこい」、お前大好きだわん
なあ、中で、すきよおかなにせかうでね、ほんと愛
意だよ、あ、ああ、せあ、」

ナシキ 333 「え、 もーした~。」

ナシキ 334 「脳ゲーム。 ハシチさんののが脳ゲームじゃねーの~。」

ナシキ 335 「せあ~。 ジやあ、 なっだよ」

(羞恥)

ナシキ 336 「え、 ハシチしながら、 妹もつい、 脣くびここの
か~。」

ナシキ 337 「あのなあ、 やつこいつは無理に脣をかじるや、 え~」

ねーう~」

ナシキ 338 「ゆいゆい~、 盛り上がった盐に坦然と丑ぬきつた
や」

ナシキ 339 「おーしゃ~ アタシが乙女になつてビーアー。」

ナシキ 340 「わーつたよー。 いいせいじいんだる……」

《◆右耳/0cm 抱きつかながい》

ナシキ 341 「じやあ、 腰動かすかい」

ナシキ、 一秒一回程度のゆくづなPステン。

ナシキ 342 「えへ、 エヘ、 エヘ、 エヘ、 エヘ」

情が入らない。

ナシキ 343 「え、 好き……好き……」

ナシキ 344 「せあ、 好き、 好き、 好き、 好き、 好き、 好き、 エヘ」

ナシキ 345 「妹分じやねーんだから、 ん、 しょいがねーだら」

ナシキ 346 「え、 せあ、 好き、 好き、 好き~」

ナシキ 347

「ハハ、このまじ續きりやここの」

ナシキ 348

「田回へ、お前数えられんのやれへ」

町口で終わるやよ「ヒツト」へ、女性器の奥を
ヒスヒン震激される。

ナシキ 349

「じやあ……好も好も好も好も好き好き——あ、あ
あああへ」

振が震えてヒクヒク。

ナシキ 350
「くひゅへ 邪魔しやがひへ ああへ 噴ヒスヒス
ヤツキへ」

(だんだん振が低く)

ナシキ 351
「おひ、止まひへ やれすゞ、あひへ
ほひ、ヒモひ、あ、ああへ」

膣韌を留めた、ナシキな低音アタマ。

ナシキ 352
「あああへへ、ああ、あ、ああああへ
はあ、あああああへ、ああ……あああ……へ」

ナシキ 353
「好きつていいたびに、奥、とんとんすんなのへ」

ナシキ 354
「変なルールせけ呪すなよへ むへへ」

※「ンセプト」『好き』と畳って子宮を小突かれた
ら、『あ』メインで、吐息たっぷり、中音～低音の
端。甘い声の『好き』とギャップを意識。

好きと囁ひ」と「ドキドキ、声が震える。

ナツキ はあはあ♪

とん
とん

ナツキ356
—あ
ああああ♪(唄) ああああああ♪

カシキ35/ 118年中西の表記は回りか無理

ナツキ358
一奥 よわいい♪
はあ はあ
はあ はあ♪

とんとん

ナツキ359
一ああ♪?
あああ♪
おま
好きーーーでねえのに

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

卷之三

え、えあ♪ ああ♪ 好き。ん、好き。あああ、あ
あああ♪」

だんだん余裕がなくなり絶頂。

ナツキ363 「あつあ。ああ、あ、あああ♪ だめ、」れ♪ あ♪
は、はあ♪ すきい、あつイグ♪（絶頂）あああ♪
ああ、えええ、あああああ♪」

ナシキ 364

「『おへなれこ』、イキ出したあへ せあせあへ」

ナシキ 365

「『おへなれいへつた』、おへなれの形、すげえ分か
るへ」

ナシキ 366

「こひわせぐりかやぐりやうれつからひれ、なんか新
鮮」

だんだん『好き』に情が入りしていく。

ナシキ 367
「うへへ、お前のちへんせは、やいは、イケメンちへんせ
だなあへ……好きへ、あ、ああああへ、あああへ」

ナシキ 368
「カツ首筋持ちこころだよなあへ、へへ、なんつーか、
もつしかれねへにならへ、好きへ、あああ、ああああ
あへ」

ナシキ 369
「お前も、中の感触、やへつ味わつてるの?」

ナシキ 370
「ヒダヒダが絡む感じとか、ビード? 気持かごこ
かへ、好きへ、好きへ、あ、ああ、ああへ、あ、せあ、
ああああへ」

ナシキ 371
「お前が『おへなれ』を呑嚥し込んでるかじド、すげえ奥に当た
るへ、おひきこみてるに揉みしだされやがってへ」

ナシキ 372
「(中)あへへ、強く揉まれんの、好きへ
(低)ああへ、好きへ、あああああへ」

※「ノンヤアム『大好き』ヒントピーストーンをされた
る、『君』メインド、吐息たっぷり、中指～抵觸の
體。おこ細の『大好き』とギャップを意識。

ナシキ 373 「お惣とのHシナ、大好き♪」

「あふえい。

ナシキ 374 「おひへ、 ばか、 おおおおおおおへ、 おあ、 はあ♪」

ナシキ 375 「じきなラピストーンすんなあへ、 死ぬかと思つたあ」

ナシキ 376 「んだよルール追加か?」

ナシキ 377 「大好きついたひ、 ハカ尻持ち上げて、 ばちゅんてい
てへ、 ハ画ヒラピストーンへ」

ナシキ 378 「じゃあ、 大好きは、 好きー回分な♪」

ナシキ 379 「おはせへ、 なんがゲーマーせくなつてゐへ、 負けへ
るねへ、 じくせーへ。」

好かへこののがノリノリになつてゐる。

ナシキ 380 「大好きへ、 おへおお、 おおおおおへ」

(声が可憐くわい士の)

ナシキ 381 「だいひゅあへ、 おお、 おおおおおへ」

ナシキ 382 「なあ、 やハゼ三回分にしねへ。」れ、 効きすもへへ」

ナシキ 383 「だめへ、 むへへ」

(最初の『好き』がだんだん低音）。絶頂へ)

ナシキ 384

「好きへ、好きへ、好きへ、好きこへ、ああ、あ
ああ、ああ、あ、あああああへ、好きへ、好きへ
ああ、ああ、ああ、ああ、ああああ、ああああへ、大好きこへ、
(絶頂) おひへ、おおおおおおおへ」

ヒロケ太君。

ナシキ 385
「イキましたあへ、好きの後の大好き、氣持ちこへ
ああ、あああへ」

ナシキ 386
「くわわへ、本来、好きいへ、軽々しく囁いかやじた
ねーんだもいへ」

ナシキ 387
「わいへ、か自分へ、この囁きは眞がするいへ」

《◆巨画/10cm 動きながら》

ナシキ 388
「はあ……」

「トントコ。

ナシキ 389
「わいへ、囁いてほしこのかへ。」

ナシキ 390
「や、みんなの前じゃ、おまごじやく……へ。」

ナシキ 391
「一人つきりの嘘やれ、なんか、嘘ふ……へ。」

(「」の聲もせ口愛く)

ナシキ 392
「あ、ああんへ、ちんぽでおねだりすんなへ」

ナシキ 393
「匂と匂が うつ匂ひの、ハーフジヤだぬなんだよお」

《◆左耳/0cm 抱きつかながい》

ナシキ 394
「ふひへへへへ」

#た好き連呼、絶頂へ。

(可愛い声がだんだん低音に)

ナツキ 395

「好き♪ ああ♪ 好き♪ あ、あ♪ 好き♪
ああああ♪ ん、好き♪ あ、好き♪ ああう♪
大好き♪（絶頂）おおおお、ほ、おおああ♪」

ナツキ 396

「また勝手にイキましめた♪ ハロ～瓶出ソード♪ むん
なわー♪」

ナツキ 397

「これでも、めちゃくちや我慢してんだぞ♪」

ナツキ 398

「ネカフエの防音とか、たかが知れてる♪」

ナツキ 399

「誰かに聽かれてたら♪ すんだよ♪」

ナツキ 400

「それでも、聽きて♪ の♪ アタシの、ひで♪ 声♪」

ナツキ 401

「お前変態だよ……♪ 大好き♪」

(甘い『大好き』と體毛の高低差を意識)

ナツキ 402

「おひら♪ 大好き、だいひゅき♪ おお、おおお
おお♪ だいしゅ、イク♪ おひ♪ は、あああ、あ
ああ♪」

ナツキ 403

「ひっぱり聽かせてやる♪ 大好き大好き♪ んお♪
大好き大好き大好き♪」

ナツキ 404

「お、お、お、お、んお、ほ、おあ♪ だいひゅき♪
んんイグ♪（絶頂）おおおおおおお♪ は、は、は、
あああ……♪」

「まだピーストーンが止まらない。」

ナシキ 405 「あい♪（低）せ、あ、あい♪（中）せ、めひく♪
おくひ♪ こめ、いつで♪、おひ♪
まだ、わもぢごのれでるが、ひ♪」

ナシキ 406 「ああ、はあ、ん、んんん♪ なんで、おひ、そんな、
大好きつて、叫いてねえの！」、んまたイキます♪」

震える吐息たっぷり。ピーストーン一回止め。

ナシキ 407 「（絶頂）おお♪、んお、ほお、ほお♪、んんん♪
んあ♪、あふふふ♪、くふ♪、はー、はー♪」

連續絶頂でいいとひ。

ナシキ 408 「んだよお♪、我慢できなくなつたかあ♪。」

ナシキ 409 「あはは♪、」こんな密着して、彼女のイキ声聞かれ
いや、我慢とか無理かあ♪」

ナシキ 410 「孕ませ欲求、刺激されてもひよーがねえよなあ♪」

「女な声色でおねだり。

ナシキ 411 「なあ♪、ぴゅつぴゅ、したいんだる♪。」

ナシキ 412 「おちんぽ、もう限界つて感じ♪、はは♪」

ナシキ 413 「じつぱに鼓膜震わせてやつから、アタシの気持ち、
聞き逃すこじやねーぞ♪」

最初はゆっくり。好きと叫いたび快感が増す。

ナシキ 414 「（息を吸う）……好き♪、あい♪、好き、あ、
好き♪、はあ♪、好き好き、んあ、好き、ああ♪
好き、好き、好きこ♪（低）あああ、ぐうぐう好き♪
あああああ♪」

ナツキ415

「普段すげえ優しいのに、ヒツチの時いじめてくれんの、すげえ好き♪ あん大好き♪ おつ、おほお♪
お、おお♪」

お、おお♪

ナツキ416

「どうつどうで、元気な精液出してくれんのも、
大好き♪ おおお、ん、おおおお♪」

ナツギ41

一七四

料酒とでりとでり出しななら
おまんこぐわけ
ぐちゅつて、ほぐしてくれんの、

卷之三

- 5 -

「お、お、お、ほ、おおお♪ あ、あ、あ、は、ああ
ああ♪ 青夜二ヶつゝき二ああ♪

(體) メハナガ、『大正時代の文部省』(編著)

- 1 -

二元タジセイギを♪ 一縦♪ 一縦にイ」セ」セ? 大好きつつたら、一緒にいくの♪ ぜつてえぎもだ
い♪ いく♪ いく♪ いくいくイグイグイグう♪

痙攣しながら大きく息を吸つて、決めセリフ。

とびきり可愛く。震えながら。

七二

だ———じゃあ今度

れーとい、個音アゲア
熱い温泉はくべくい、アをよ
うな、とても長くて幸せな吐息と喘ぎ。

ナシキ 422

何度も同じアクメ。優しき絶頂を繰り返す。

ナシヰ 423

「せああ～ 残りも丑し女れぬ」

ナシヰ 424

「大好き～、ねい～、ねねね、せ、ねね～」

ナシヰ 425

「だこすか～、ねい～、ねねねね、ねたイキがわ～」

ナシヰ 426

「だこりやれここ～、ねねねね、ねたイキがわ～
ねねね～、ねねね～、お……せあ……～」

やいと麻糸が終わる。

艶咲感の高まる甘麗。かみいじゆの艶。

ナシヰ 427

「せ、せあ……せあ、せあ～」

ナシヰ 428
「丑か麗れぐ～、そんなにアタハの「お嬢ちゃん～
～、ハセカ～……嘘すか、こ～……～」

照れながらや。

ナシヰ 429

「ねい～、ねあ～、せか～、やい終わっだいの～

ナシヰ 430

「ねい～、ねあ～、せか～、やい終わっだいの～
幽ふわ～」

《♦凹面/10cm 輝かながい》

ナシヰ 431 「……いたぐら」

《♦凹面/10cm こねやこねやサバ》

ナシヰ 432 「えむせいか、むすひむせいか、れぬ、むせいか
むせいか」

《♦凹面/10cm 露れぬ》(露れぬ)

ナシヰ 433 「せぬ……せぬ」

ムヌム

ナシヰ 434 「ぬぬ」

ナシヰ 435 「くわくわ、キビ穂(くびほ)」

(穂(くび))

ナシヰ 436 「おやか、世間じよまんにやうじゆう一なみ」

「おやかくせり主人公。ナシヰも同じくせり」

ナシヰ 437 「あるお士(しげ)一だいのせか」

ナシヰ 438 「せか、せか、せか」

ナシヰ 439 「せーへ、せーへ」

「おやかくせり。おやかの大女(おおめ)」

ナシヰ 440 「……だーこかわ」

「あんせ(あんせ) (おおせ)、トかい(おかい)」

ナシヰ 441 「ぬじぬじ」

4-1_高級ホテルにテンション爆上がりなナツキ

ホテルの一室。部屋に入つたところ。

ナツキ、たまらずベッドに飛び込む。

【奥を向く】

《◆右前/50cm 飛び込む風にしゃがみながら》

ナツキ 442
「ふわふわ」

「ほんとナツキがベッドに沈む。

《◆しゃがむ》

ナツキ 443
「ふあひ~」

(下向いてすりすり)

ナツキ 444
「あ~、家のベッドの面倒やね~」

【ダッシュを向く】

ナツキ 445
「あ~、お前も飛べよ、大丈夫誰も見てねえから、少年の心取り戻してけ~」

主人公、荷物を置いて支度。

ナツキ 446
「んあー、やんねえのかよお。む~」

ナツキ、ベッドから起きる。

《◆右/50cm 移動して立ち上がる》

ナツキ 447
「ふ……ふわ~」

「つーかさ、結構いい部屋借りたじゃん~

久々の『テーブで張り切つたやつだ~』

《◆右/30cm 右ぐるぐる》

ナシキ 449 「くわへ かへ」こうへ、ハラハラ、おせせへ

船壁を動き回る。

《◆右/50cm 右を向しながら》

ナシキ 450 「都会の夜景も最高だしへ」

《◆右前/50cm 移動しながら奥を見る》

ナシキ 451 「なんかマシナーハウスあるじゃへ」

《◆左前/50cm 移動しながら奥を見る》

ナシキ 452 「無駄にハーモニーの一美味しさだしへ」

《◆ダメークを見る》

ナシキ 453 「あ、」れ後で頬くじらへ もうしゃへ

《◆左前/50cm 移動しながら左奥を見て》

ナシキ 454 「とか、ネコト回繰せやへ」

《◆左/50cm 移動しながら左奥を見て》

ナシキ 455 「おとおと、風呂場もおひたよなーへ」

《◆左/遠め 奥を見る》

ナシキ 456 「ねねー、広いー、なんだ」」れへ」

「一歩マシテを見て一氣にトハシヨンが下がる。

ナシキ 457 「おーー。……なんだ」」れ」

《◆左/30cm 嫌な予感を抱えながら」」へむる》

ナシキ 458 「なあ……なああなたなあ」

ナシキ 459 「」の船壁の風呂場……なんか、やるしご感じだった
んださ~」

《◆出画/30cm×40cm》

ナシキ 460
「せあー。」

ナシキ 461
「寂(ひつり)の船(ふね)艤(いり)だのー。 やつは変態だあ」

《◆後(うしろ)からながる》

ナシキ 462
「や、 ローハンハセ、 ナシキだあ。 アレで何すつか、
なんとかなく知(し)つての士(し)ムー。」

《◆もひとと後(うしろ)から》

ナシキ 463
「やくねーよ。 やくねー。 もひとつやくねー」

《◆もひとと後(うしろ)から》

ナシキ 464
「ね瘤(うぶら)にむなにね願(ねが)いわれても、 もひとつやくねー
か、むー。」

ナシキ、 船(ふね)艤(いり)の外(ほか)で後(うしろ)から。

《◆出画/題(だい)題(だい)くら》

ナシキ 465
「絶対(絶対)だからー。」

(4-1 END 396枚目)

4-2H_「毒士城のナシキの、 むちむかローハンハペイズツヒツム」

※座りながらソトに置かれていたハーブがおりま
すが、 植子がやしもやつたる黒ソド〇メです。

ハヤワールームの前。

ミト越して置かれていたナシキの瓶。

《◆絵画/50cm フヤガム》

ナシキ 466 「えへ、 準備、 じれたせ……入れよ」

ミアが開く。

ナシキ、 全身ローン用をみれ。

ぬぬぬぬのヌリールマシテのヌリ座ひてごめ。

ナシキ 467 「ハハ……せん。 お前の幅広い土じね、 ローハンハ
ハみれだせ!」

ナシキ 468 「おは、 ジヒヒ取てねバで入れ! 頬立の♀せ舞ひー!」
主人公も座って、 顔の幅せが回り。

《◆絵画/30cm》

ナシキ 469 「せあ、 せあ……せあ、 はぐりーか……今田のトーテ、
樂しかったし? 一いつひこ、 お願こ聞こいやひても、
じいかなー、 とか」

黙れトーテもく。

ナシキ 470 「…………とかとか……あはせ」

ハハむこうた先に異性器(叫ばーもじだな〃く見る)

ナシキ 471 「あせ……あー……やハ勃起つてね。 叫ばーも」

ナシキ 472

「そんな刺激つべえか？」の格好」

ナシキ 473

「全裸ぐぢよぢやめどや……裸なんもアレかなつい
あつた水着、つけてみたんだナム」

ナシキ 474

「キリ、乳首とお尻」、隠れつかなーへ、うごド……
なんか、裸より恥ずかしい……♪」

恥ずかしさが限界。

ナシキ 475

「ハ、やつぱ、外すか水着！」

ナシキ 476

「ハハ、！」のまね。

《◆凹面/0cm 露われて優しいキス》

ナシキ 477

「あ、んむ、れる、れへ、かゅ、れ、れる、れる、
んん、かゅ、はあ、」

《◆凹面/10cm》

ナシキ 478

「水着、可愛いか、えく、ハニヤベホ……♪」

おおんせ掛し付けながら、壁へ壁掛けやねーだら、

「いじから寝とせー、してやいかー……♪」

ナシキ、キスしながら主人公を横にやか。

《◆凹面/0cm ものづき凹ひじて優しいキス》

ナシキ 480

「はあ、あむ、れる、かゅ、れ、れる、れる、
ちゅ、上乗つかるぜ、れるれる、れるれる、
ちゅれる、れるれる、れる、れるれる、
ちゅ、」

《◆正圓/10cm》

ナツキ 481

「はあ、はあ♪」

ナツキ 482

「」のほか、「すり合ひつ」、すりやいいのかな」

ナツキ 483

二二
やへみる

ナシサ
全員をこのままにして

ナツキ 484

ナツキ 485

「水着一発で取れた♪ あはは♪ ほら、おっぱい

てやつが♪」まいづが♪い／＼見せてるじ】

十一
400

【】から「セリフ」にゆき下上】

ナシキ 487

「全身を……ぐちょぐちょ♪ マツサージ～♪」

ナツキ489

「むにゅーって♪ おっぱい潰れちまうな～♪」

ナツキ 491

「やわらかえか～？ 幸せか～？」ふふ♪

【上下、一旦ストップ】

◆正解/0cm どちらかのようなキス

ナシキ492
「せあむへ れえる、れぬ、れろれぬへ れえる、
れえる、れる、れるれぬへ ちゅうへ」

《◆正面/10cm》

ナツキ 493

「王様気分って感じだな♪」

【「ヤコフ」ヒニゅーハラード、両隕】

ナツキ 494

「彼女のむかむかボディで、贅沢に体洗つてんの」

ナツキ 495

「いけねえ」ヒーヒーみたいで、最高だもんなあ♪」

ナツキ 496

「あはせ♪ 彼女に何をせてんだよ♪」の変態♪」

ナツキ 497

「やるからには、ちゃんと気持ちよくなれよお♪」

ナツキ 498

「アタシが！」おじしてば、中途半端な射精したら」

【上下終わリ】

ナツキ 499

「ただじや置かねえからな♪」

《◆正面/0cm ハラサムようなキス》

ナツキ 500

「れ~る♪ れ~るれ~るれ~る♪ れるれるれ~る♪
んれ~る、れろれるれる♪ あゆう♪」

ナツキ 501

「はあはあ♪ セイセイりちんぽ膨らんでね?」

変態♪ れ~るれる、ちゅ♪」

ナツキ 502

「い~、い~や~てキレイ!」われてえの? んちゅ♪
や~せ、お~せ~か? ん~。んふふ♪ れ~る、
れ~る、ちゅ♪」

『トレトレに嬉しぃ』

ナツキ 503

「しょーがねえなあ♪」

《◆正面/30cm 男性器の位置に動きながら》

ナツキ 504

「じゃあ、寝たまゝ腰浮かせ~♪」

ナツキ 505

「アタシの太ももにお尻乗せる感じ。そ~そ~」

ナシキ 506

「ハハハ、パイズリ体勢ねりけー♪」

(横向いて物を取る)

ナシキ 507

「お待つで、わいとぐわよぐちょこすつかひ、

ローハンローハンハム」

胸にローションを塗りたぐる。

ナシキ 508

「ねいせこにたつぱりかせへー、ぐにぐにぐにぐに、
あせせ、ヒロゴか。」の動作

ナシキ 509

「巨乳、すりあわせてわ、ああ、乳首も立つて
わわわいた、はあ。」

ナシキ 510

「今からいのおいぱこに、ん、おちんぽキレイにわれ
んだ! やは、楽しみだなー。」

胸の谷間を広げる。

ナシキ 511

「せご、くいせあ……。」

ナシキ 512

「あは、今おいぱこから噴出たよな、
くすくす、せつて、ん中ほのかじやん。」

ナシキ 513

「せご、おちんぽおこど、エカツチおいぱこで、
ハハハハハハトヤウ。」

ナシキ、男性器を胸で挟み込む。

ナシキ 514

「あーむへ、あああ、おちんぽ全部食べちゃった、
んー、おちんぽ溶けそつかー、可愛い顔しゃがつ
て。」

【】から『気持ち左右に揺れながら】

ナシキ 515

「おちんぽ洗い、始めるか、グニグニグニグニ、ぐ
ちゅぐちゅぐちゅぐちゅ、おちんぽ洗われるの気持
ちいこなあ、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ。」

ナシヰ 516 「おーおー、 驚動こころでやー。 らりや、 らりやー〇
て、 わかぬみてんな動きへ。」

ナシヰ 517 「今謙虚したハトタンが謙虚ハハハな、 ハハハ」

くたぐれな顔ご覗。

ナシヰ 518 「ああん~ しわーも、 嘴尖じやねーー~」
どれつだれ。

ナシヰ 519 「謙ち眞けじやねーかハれ…… 駄じ繁、 もひよ眞せハ
じいんだむ。 ものせつが、 やりがいあるハハーかハ
えふらんハ」

ナシヰ 520 「ん、 なべだな、 別に樂さんでねえしハ、 お福ニ顔
われて、 仕方なくやつてんだせだハ」

ナシヰ 521 「むハ、 いいやいいやしそやがハハ、 いわなつだ、 ひハ」

【】「かの眞摯ち耳トドキ舞れなが、 〇】

ナシヰ、 こわなう縦にヒハベイズツ。

ナシヰ 522 「じの、 じの、 横から出廻しながハ、 縦にズツロ
キハ、 ん、 ん、 ん、 ん、 わかわねおひせこが、 縦に
じのよーひに瀆れぬくひごだしへ、 ト手すりや、 ん、
ねねえ」よつ、 締め上げられてゞじやねーの~。」

ナシヰ 523 「せあ、 あ、 あ、 うひだ、 ほじつたかハ、 おせせハ
あああ、 気持ちよれハ、 せあ、 あ、 ん、 あ、 あハ」

ナシヰ 524 「すきハ、 御聞かハ、 『うきひ』うきひ、

「おひせこかわ少士の顔しやがぬハ、 カスモ硬かわくハ」

ナシヰ 525 「アタシのおまえ」、 こいつも「ひやつて少士か、 わか
てんだハ、 本眞ピストンハ、 田の前で駆けひねかねひて
るハ、 せあ、 強ごねかえせ、 かひ」「こうハ」

ナシヰ 526

「せおせおへ、今日も、このねがへ世でへ、お、おおへ
へへ、巨頭走してへだアタシへ、せおせお、やわへ」

【脇え込みながい、そのおお口に躍れ】

ナシヰ 527

「せおむへ、スジをぱじをせ、おかへ世へ、スジをせ
じをせん、「」舞仕したくなひおめへ、シモ世じをせん、
シモ世じをせん、シモ世じをせん、シモ世じをせん、」

ナシヰ 528

「兼味しゃいなわくせしのが懸じてだへ、アタシ
は変態じやねーしへ、スジをぱじをせん、シモ世じを
せん、お屋の幅ごの土だかひへ、シモ世じをせん、」

ナシヰ 529

「わいとキレトにしだべしへ、シモ世じをせん、
んわきいへへ、かきいわきへ、れる、れる、れる、
んわきいへへへ」

ナシヰ 530

「ねいせこねめい」、眞掛わこじか？　一 真掛ヰで
入れいへ、下顎に吸じせかれるへ」

ナシヰ 531

「じょせんじせん、シモ世じをせん、スカキハ、ジオヘ
かきいへへ、かきいへへ、かきいへへへ、かき世へへ」

ナシヰ 532

「せお鰐隈ねここへ、「」のねせい」この、サヒシハ
ローハコハジやねーしへ、れるれるれるれるへ、哉豊太、
こいせこ嬢れしゃくのへ」

ナシヰ 533

「キソイにあらへうへてのへ、咲かへじやねーしへ
やつ血レドヘ」

(『おゆゑ』 ぶ帳立田かねかぐらヒヒ)

ナシヰ 534

「れるれるれるれぬへ、んれれるれれれぬへ、龜隈
ピカピカにしてやつかひなへ、れるれるれれれぬへ
れるれれるれぬへ、んれーしへ、れーぬれぬへ、
れるれれるれぬへ」

(『れるれる』と声に出す舌くすぐりフニラ)

ナツキ 535
「今のアタシ、舌伸ばしてマヌケな顔してるとな♪
お前にしか見せねえ、フヨラチオスマイル♪
あはは♪ んれええ♪ れるれるれるれる♪ んれ、
れ、れ、れええる♪ れえる、れる、れる、れる、れ、れ、
れる♪」

ナツキ 536
「フユラチオ顔、もつと睨んでるのか? (恥) むう♪
お前がそつといつなり、特別だからなつ。」

お前がそういうなら、特別だからなつ♪」

ピストンバキューム。

ナツキ537
「まあ、じゃぶじゅぶ、じゃぶじゅぶ、じゃぶ
じゃぶじゃぶ、おちんぱ好む、じゃぶじゃ
ぶじゃぶじゃぶ、じゃぶじゃぶじゃぶ、
ちゅうりへ、ぶあ」

【歴えやめ、そのまま上に詰れる】

ナツキ538
「もう上がつてきてんだろ？ 毎日しやぶつてつから
分かんだよ♪ 人のフェラ顔見て興奮しやがつて♪」

「恐い、先づ息を一息、吸つてやつか、」

ナツキ 539

62/99

(『え、え』と顔多めでピストンしていく)

【咥え込みながら、激しく上位で挿れる】

ナシキ 540 「ああね、じゅぱじゅぱじゅぱじゅぱ、え、じゅ

ぱじゅぱじゅぱじゅぱ、え、アタシのバキュー
顔、もひと見る、じゅぱじゅぱじゅぱ、ねいせ
に本気ピストンする、じゅぱじゅぱじゅぱ
んぐ、じゅぱじゅぱじゅぱじゅぱじゅぱ、え、

ナシキ 541 「せこ、精液全部飲みまわ、激しくおまかせ、

全般、全部飲みまわ、じゅぱじゅぱじゅぱ、
出しへりせこ、おまかせ、

ちゅうりゅう

精。ナシキもちよつぱり潮吹きイキ。

(上位の挿れをなくしてこく)

ナシキ 542 「んぐ、え、んぐ、ちゅうりゅう、
ん、じゅぱ、じゅぱ、え、じゅぱ、ちゅうりゅう、
んじゅぱ、じゅぱ、んぐ、じゅぱ、ちゅうりゅう、
ちゅうりゅう、ちゅぱ、え、るー、るー、

【上位挿れおわり】

◆左耳/0cm 雜液含んだ左耳/0cm

ナシキ 543 「ふー、ふー、

耳孔の奥まで。のじ越し、苦悶。

ナシキ 544 「え、いじめ、いじめ、いじめ、いじめ、
はあ、はあ、はああ、」

【「」やの二版】

「この歌はドヤーリー越へ日が、母モサ櫻謡曲アモア
だもお桜の精波ヘ」

「えへ、せあへ」

「ああへ、櫻次郎へ、タバダガへ。」

まれせねの聲。

「歌のやうだいへ……、口立玉れへ、櫻ヘイサア
やうがビリヒニスだいへ……。」

詠歌選り。

「わざみつれ、井だいサハサハシヤスヘ」

黙れながい。(豊毛)

「ぐ櫻せ、咲キスレド、サコトヒトヤエヘヘ。」

(ふられの回歌へ、ぬちいし聲かんの歌上豊毛)

「ふかへ、櫻歌だれへ。」

(4-2 END 2827 桜)

4-3H_ローハンノおみれで「アハハ」甘噺の騎乗位へ

前シーンの続き。

ナツキが主人公にまたがる。

《◆H/10cm から H/30cm <》

ナツキ 552
「ん……はあ」

ナツキ、男性器を自分の女性器にあてがう。
ナツキ 553
「ああ、これすぐ入りそ、ローハンノでぐつちより
だもんなあ、はあ♪」

ナツキ 554
「お前はなんもしなくていいからな♪」

ナツキ 555
「あつたけえマットの上で、大の字に寝そべつて、
ん、自分のちんぽが、「ンハハシ洗われてる様子を、
楽しんで見てるやう♪」

ナツキ 556
「せせ、本当にH様の感じだな♪」

ナツキ 557
「えじや、H様ちんぽ、おまん」洗らしますねー♪

「っふっふと挿入。だんだん低音」。軽くイク。

ナツキ 558
「あ、ああ……せ、あ、ああああああ♪」

《◆H/10cm エハ声で絶頂報告しながら抱く》

ナツキ 559
「はあはあ、イキましたあ♪」

ヒル士のよくなキス。

ナツキ 560
「ああ、れる、れるれる、れる、れる、れ
る、れる、ちゅつちゅ、れる、ちゅう♪」

ナツキ、ゆっくり腰を動かして、甘い出息を出す。

《♦正面/10cm》

ナツキ 561 「はあ♪ お前のちんぽ入れんの、抵抗なくなつた
まつた♪」

ナツキ 562 「前まではあんな先延ばしにしてたのに♪」

ナツキ 563 「今じや、ちんぽ入れてねーと、収まりが悪いっつー
か(低) あ、あああ、気持ちいい♪」

ナツキ 564 「うめん♪ おちんぽ、洗わねえとな♪」

ナツキ、膝を立ててピーストーン準備。

ナツキ 565 「ん、はあ♪」

ナツキ 566 「膝を立てて、ん、くい打ちピーストーン♪ いくせや。」

ナツキ、腰を何度も打ち下ろす。

一秒一回ほど重いペーストーン。

ナツキ 567 「ねい♪ んお♪ ねい、ねい、ねい、そい、そそ♪
んあ、ああ、(低) ああ、ああああ♪」

ナツキ 568 「やー」から、おまんこ見えるか? もうつぶやく
女産体型♪ お前のための、『奉仕おまんこ♪』

ナツキ 569 「ふふ♪ ふふ♪ ふふ♪」

ナツキ 570 「一切腰振りはずこ、勝手にちんぽ気持ちよくなつて
もんなあ♪ あ、ああ♪」

ナツキ 571 「全自動生オナホつて感じ♪ 彼女にやるせる」とか
よ♪ せよ♪ (低) あひ♪ ああ♪」

ナシキ 572

「おお、アタシも隣でやつてゐるんだしなあ～
「ハーハーハーハ～、えい、トドクダのせへん、隣接かご
こじり隣れの、ねの～、結構好きかも～」

ナシキ 573

「(低) ああ～ せ～、あああ～」

ナシキ 574

「お前もじつだ～、こうじり隣だつてゐるから～
え、先づせ、トドクダのせへんのせへんのせへん～」

ナシキ 575

「ハーハーハーハ～、ねい、ねい、えい、ねい、
ほい、あ、あああ、あああああ～」

ナシキ 576

「せ～、隣でやつて、お前のかくせの「JAP」、全部分か
るだせ～。回回Hシチしてねむ隣ひてスダ～」

ナシキ 577

「(低) あ、ああ～」

ナシキ 578

「わいと隣ごのも、好きだもんな～」

ピースライン止める。

ナシキ 579

「抜けやつてなるギツギツめで抜き上げて～、一瞬に下らす。

奥～（絶叫） ねい～、あああああ～」

ナシキ 580

「王様ちくせ、ゆいかやズ～ひて来る～」

おち下ろすピースラインをすねだらひに隣吹き。

ナシキ 581

「もつかこ～、ケンヂち上げて～、(低) ねい～、
(母) おおおおお～」

ナシキ 582

「もつかこ～、もかおナヒ～、(低) ねい～、
(母) おおおおお～」

（ふるさた版）

ナシキ 583

「隣吹きで吹しかやこめしたあ～、「おんなれあこ～
おまえ～」でキレヤニ～まく～」

◆右耳/0cm 抱きつきながら】【「」から小声】

ナツキ 584 「はあはあ♪」

♪うさる耳舐め。鹽やまじら。

ナツキ 585 「はあむ♪ れえ、れる、ん、れる、れる♪ ん、
れえ、れえれる♪ ん、れえ、れる、れる♪」

ナツキ 586 「ピストンするたびに、繋がつてると」が、あ♪
ねとおひてなんの、くつそ口いな♪ はあ、何度も、
ピストンしたくなつちまつ♪」

ナツキ 587 「はあはあ♪ んむ、れぬ♪ ん、れる、ん♪ れる
れるれる♪ ローションセックス、家でもしてえな♪
ん、れるれる♪ うん♪ しょ♪ はあ、れるれる、
ん、れる♪ はあ、れる♪ れるれるれる♪」

優しい低音アクメ。吐息たっぷり。

ナツキ 588 「あ♪ 潮吹きします♪ (絶頂) ああ♪ あ、ああ♪
あえ、へ、え、えああ♪ はあはあ♪」

一皿ピストン止まる。

ナツキ 589 「はは♪ ちんぽの周り、すげえねつとりしてんの♪
ローションだけじゃなくて、本気汁もべつたり♪
アタシの匂いで、マーキングしちまつた♪」

ピストン再開。

ナツキ 590 「ん、ん♪ 別にいいよな♪ 王様ちんぽは、アタシ
だけのもんだし♪ れえるれる、れろれる、れれる
いっぽい匂いつけてやんねえと♪ れろれる、れれる
る♪ はあ、れえるれる、ん、れろれるれろれる♪
おちんぽの根本まで、ちゃんとマーキング♪ おつ♪
れえるれる、れろれる、んれる、れるれるれる♪」

ナツキ 591 「なあ、手^てつけな^な」^ハ、せ^せ、ローライ^{ライ}ンおみれの、指を絡めて^ハ めめー^ハ」

ナツキ 592 「れえるれふ^ハ ん、れふれふれ、れふれふる^ハ」

ナツキ 593 「はあ、ああ^ハ テートヰ、ずー^トと手繋いでたもん

な^ハ すげえ^ドキドキした^ハ えくく^ハ」

ナツキ 594 「ああ^ハ 手^てあつたけえ^ハ 恋人繫きマジで好き^ハ

パ^ハパ^ハ、もひと頑張りたくなつたまつ^ハ」

ナツキ 595 「はあ、れる^ハ れえれる、はあ、れる^ハ ん、れ
る、ん^ハ れるれる^ハ れるれるれる^ハ 大好き^ハ」

だんだん絶頂に近づいて、低音イキ。

ナツキ 596 「れえる、ん^ハ れるれる、ん^ハ れるれる^ハ ん、
(絶頂) おおお^ハ あ、はあはあ^ハ イキました^ハ
はあ、れる、れろれる^ハ んれるれるれる^ハ れえる
れえる、れる、んお^ハ」

一回^{ヒラメ}スイン^ス止まる。

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 597 「はあはあ^ハ ほん^ニ痺れちつた^ハ」

|可愛^{かわ}いし^く、弱弱^{よよ}し^く。

ナツキ 598 「かよひと休憩していい^ハ 『めんな?』

◆正面/0cm 慎しきキス

ナツキ 599
「はあ♪ んむ♪ ちゅう♪ ちゅ♪ れる、れる、
れる♪ ん♪ ちゅう♪ はあ、れる♪ ちゅう♪」

ナツキ 600
「はあ♪ 繋がったまま、」すり合いつすんの、
氣持ちいい♪ はあ♪ ちゅうちゅ♪」

ナツキ 601
「よりたくつたローションも、体温であつたがくなつ
てて、れるちゅ、全身ほつかせか♪」

ナツキ 602
「れる、れる、れる、れるれる♪」

ナツキ 603
「お前と離れたくねえなあ……♪ はあ♪」

ナツキ 604
「ん♪ うん♪ お尻、揉んでいいぜ♪」

ナツキ 605
「あ♪ あんま強くすんなよ♪ 今敏感だから、
なぞるみてえ♪、優しく、な♪」

ナツキ 606
「せあ♪ あああ♪ ん♪ れる、れる♪ れる、
れる♪ ちゅう♪ お前がデカ尻揉むたびに、
おまん♪がきゅーつてなんの♪ 分かるか? ふふ♪
(低) あ、それ氣持ちいい♪ れる、ちゅふ♪ れるれ
るれる、ちゅう♪ れるれる、れるれる、ちゅ♪」

◆正面/10cm

ナツキ 607
「なんかさ、今までしたどのHツチよりも、
密着感あるよな♪」

ナツキ 608
「スライムみたいなの。ぐちょぐちょって、隙間もな
んもない♪ ピッタリお前と、一緒になつてんの♪
すげえ幸せ♪」

ナシキ、興奮滋味。

《♦巨乳/0cm サバ》

ナシキ 609

「ん、わゅ、わゅ～、お前の瓶も、わゅを瓶も、匂いも、はあ、熱やも～、れ～るれ～、わゆい～」

《♦巨乳/10cm》

ナシキ 610

「大好きなお前皿も～、一皿に体で感じたりか～、頭パンクしゃりだよね～」

ナシキ 611

「ずいと繋がりつけなし～、ずいとこのままがいじ～、もうじくいひね～」

一秒2回せん、重たくねつじこしたピストン。

ナシキ 612
「せあ～、あ～、せ～、あ～、あ～、あ～、ああああああ～（低）ああああああ～」

《♦巨乳/0cm 抱きつかながい》【い】から二瓶】

ナシキ 613

「せあ～」

ナシキ 614

「1」ぬ～、我慢できねえや～、アタシが本気♪スティン
しかねいつ～（低）ああ、やめだ～」

愛情たっぷりのぐい呑み耳語る。豊潤も。

ナシキ 615

「はあ、れるれるれる、ん、れろれれれる、ん、
れれる、れるれる、はあ、れろれれ、はあ～」

ナシキ 616

「お前は最後まで動かなくてご～、ずいと王様でい
る～、ズレ～ご王様は、なんもしなくて、おちんぽ
びゅ～ぢゅ～吸抜かよくなれんだぜ～？」

ナシキ 617

「ただあくびを大き～～にだけで、勝手に女が
よがつちまつ～、そんなイケメンちゃんを抜いてお前
だけの、最～高の特権～、わいと味わえよ～」

ナツキ 618

「れえるれるれ、れろれる、子面にぐつぐつ、
れるれる、れろれろれる、トカ尻パロペロ、
んれえ、れえ、れえ、れえ、れる、れる、れる、
生オナホに、中出シ、はあ、れえるれるれる、れ
れるれる、はあ、」

ナツキ 619

「あ、イグ、（絶頂）あ、あ、あ、あ、
はあはあ、とねね、ピストンもせつてんじぬ
ね、」

ナツキ 620

「王様ちんせは、すげえつけから、チャレル」奉仕
しねえど、びゅーびゅーしてくればねえんだよなあ、」

ナツキ 621

「せ、あ、あああ、あ、あ、あ、あ、あ、」

ナツキ 622

「ほ、お前の大好きだ、イキつけなしおまえ」だ
ぜ、（低）あああ、痙攣して、今おちんせ入れちゃ
ダメになつてると、無理やり押し広げて、

（低）おお、奥のせ、じめじめじめじめ、」

ナツキ 623

「あ、」れやば、王様ちんせイグ、（絶頂）お、
あああ、は、ああ、さあはあ、」

ナツキ 624

「れえるれる、れられら、く、く、れえるれる、
れられら、なあ、王様、」奉仕頑張ったからせ、
「」優美くれよお、れえるれる、れられる、く、
れる、れる、れられら、はあ、」

（『くだれこ』 憶體）

ナツキ 625

「」優美、くだれこ、」れやじか。マジで王様
眞剣じやく、さすがアタシの彼氏、ふふ、」

甘えた声で。

「いやあ王様、本氣のねねだりピーストーン、ミルク
ピセリピーストーン、しおすからあ

「一番奥に、出しゃへ。」
「せつぢへ。」「せつぢへ。」

ナツ生
緑頂へのノハートを加ける

(少) いきを演せかくほり耳舐め

卷之三

「はあ、あ、お、お、お、え、あ、あ、あああ～」

◆左端/10cm】【上】から下の順の組合せ

(とろとろで呂律が回らない)

「『奉仕なのに、おねだりして』めんなさい。

生えでがなのに おまへに聞くてこゝかんたさし
おひぬ おおおひ まあひ

(スパートかけて『ちんぽイグ』から低音に)

ナツキ630 「はい♪ お前だけの、お姫様になります♪ 誓いま

「はい♪ お前だけの、お姫様になります♪ 誓いま
す♪ 出して♪ 出して♪ 誓いの中出し♪ あ、は、
あ、あ、あ、あ、は、ああああ♪ ちんぽイグ♪
イグ、イグイグイグイグイグ♪ 中出ひー」褒美、

ナツキ、思い切り腰を打ち下ろす。

低音アクメ。大量潮吹き。たっぷり吐息。

ナツキ 631

絶頂の息遣いのまま次ページの耳舐めへ。

残りの駄糞をうながす耳舐め。髪の耳舐め。

だんだんといへる。

◆耳^{10cm} 抱きつこ^{10cm} 耳舐め【「」から小瓶】

ナシキ 632 「さあ、れるれるれぬれぬ、れわれわれぬれぬ
れる、れる、れる、れる、ん、れる、れる、れる、
はあ、れるれるる、んれるる、はあ、れる、
れる、れる、れる、れる、んはあ、」

放心状態。

ナシキ 633 「あああ……はああ……も、騒動かね……♪」

◆耳^{10cm} 動きながら

ナシキ 634 「さあ、さあ、」

ナシキ 635 「んわわわ、わわわわわ、れる、れる、
わわわ、」

◆耳^{10cm} (舐れながら)

ナシキ 636 「なーあ、頭^せと^せと^せ、こ^れくれよ、」

ナシキ 637 「髪^{くせ}のト^ト、髪^{くせ}のト^トローランド^ト、わ^わわ^わわ^わ」

なじなじ。

ナシキ 638 「あ……ああ……ふく、ふく、頑張ったぜ、」

ナシキ 639 「髪^{くせ}と^せと^せ、学校^{がっこう}のせやめてほしこうじー、
(黙) 一人の世^せ、わ^わと^とト^ト、こ^こい^いだ^だよー。」

◆耳^{10cm} 篠^{すず}かしゅ^{かしゅ}おねだりキス

ナシキ 640 「わ^わわ^わ、ん、わ^わわ^わ、れる、れる、わ^わわ^わ、
せあ、ん、ん、れる、れる、わ^わわ^わわ^わ、わ^わわ^わ、」

5-1_生意氣ナシキを根負けするまで寸止め調教

ホテルの一室。

「シンドル」の一人。

【やつたらした会話を意識】

《◆正面/10cm あみとお隣へから近づめながら》

ナシキ 641 「なあなあ、腕枕♪」

ナシキ、主人公に腕枕してもいい。

《◆左/10cm 動きながら》

ナシキ 642 「ふふ、まあ～♪」

ナシキ 643 「あつたナ♪」

ナシキ 644 「エウ♪いつ風呂したもんな。ちよひと湯飯庄へる」

ナシキ 645 「あと、なんかいい匂いすね」

ゆづくら 静かに嗅ぐ。

ナシキ 646 「うふ……すー、まあ」

ものか「こり」シクスしての自分でちよつと笑う。

ナシキ 647 「(笑)寝ちゃこや♪」

ナシキ 648 「お前を抱き枕にして寝んの気持ちいこんだよなー」

ナシキ 649 「すー、まあ」

「アーティックだった？」

ナシキ 650 「ふーー、うふふ、トート楽しかった♪」

(わざわざ不機嫌そうな声)

ナツキ 651

「ひのせじHツチな」とされたけどー」

ナツキ 652

「まあ、アタシの趣味に付けてくれたし♪」

ナツキ 653

「ティナーもすいげえ美味しかったし♪」

(近づいて囁き。まだ根を持つてゐる)

ナツキ 654

「あと、トーマのはじめに、髪型褒めてくれたし♪、

くわく

(戻る)

ナツキ 655

「仰格姫をあげよハジやないかあ♪、あはは♪」

ナツキ 656

「たまには」——「田もいいよな♪」

ナツキ 657

「学校と家ばつかだと、あんまり好きに出来ねえいつ一

か」

ナツキ 658

「へーん。近づきづれえじやん」

ナツキ 659

「他の女子と喋つてたりするし」

ナツキ 660

「なんかその女子にも優しくし」

ナツキ 661

「や、別にいいナデー。それがお前の仕事じやん」

ナツキ 662

「最初のアタシだつたら、なんかやだなーとか、

焼きもん焼いちゃうなーとか、一発殴りでーとか、

後ろから蹴り飛ばしてーとか、もう一発殴りでーとか、

思つちまつことも、あつたかもしんねーナデー」

「よくよく考えりや、お前が誰にだつて優しくすんの

は、当たり前なんだよな」

「やつせなかよーっと妬く士気やわ♪」

ナツキ 664

ナシキ 665

「別にいいじゃん。他の女に優しくしても」

【「」から小声、エッチな吐息と声色で、興奮を

演出コード「」

《◆左耳/0cm 動きながら》

ナシキ 666
「だつて」

ナシキ 667
「優しいだけが、お前じやねえし♪」

ナシキ 668
「だる?」

ナシキ 669
「普段はクワスのみんなに愛嬌振りまいてや〜」

ナシキ 670
「アタシもや〜」を貰つてお前と戯せ合つたのに♪

ナシキ 671
「ふたを開けてみりや」

ナシキ 672
「ちんぽで思いつきリボロボロにしてくさんの♪」

ナシキ 673
「想像できねえよなあ」

ナシキ 674
「最初は尻に敷いてやるーひと思つてた」

ナシキ 675
「でも、ござお前とシテみたら」

ナシキ 676
「一発でメス穴にされちゃつた♪」

ナシキ 677
「ちやんとおまん」せぐして

ナシキ 678
「癪くねえか何度も聞いてきて」

ナシキ 679
「あつたかくて、気持ちよくて」

ナシキ 680
「ほんと、お姫様かよつてぐらう、大事にしてくれる

くわい」

ナシキ 681
「ねちんぽは全然手加減してくれねえの♪」

ナシキ 682 「なにこ、ヤツヒの畠中、お前『戸隠』とか『山口』へ
へえだやべ..」

ナシキ 683 「トドロクセ、『さかゑ』『さかゑ』と瀕しながら、
『戸隠』『大好きだよ』いわ」

ナシキ 684 「そろなエッチ、母田やれたらや」

ナシキ 685 「詫みやどり山かまつに決まりてんだらへ」

興奮の吐息。

ナシキ 686 「せあ、せあへ」

ナシキ 687 「なあへ」

ナシキ 688 「今田せ、えりかこのへ..」

ナシキ 689 「あめ..」

われいし発射。

ナシキ 690 「お前がジハントモヒトドリハセハ、トドヤヒトモココ
ナニハ..」

#主人公、起き上がる。

【（）からの普通の重量】

《◆絵画/30cm 動きながら》

ナシキ 691 「ん.....へ..」

#主人公、バイクを試運転。

ナシキ 692 「なんだよそれ」

「（）の船屋バイクもあんのかよへ」

（余裕そう。脱ぐ風にちょっと左右に動く）

ナシキ 693 「ふふやへ..ト脱いぢやつかひへへア アタシを
その氣にやかしてみるよへ」

(「」)ト覗く)

ナツキ 695 「あ、」れ?」

ナツキ 696 「ニーフンクスジやねえよ。夜用のやつ。」

ナツキ 697 「そそ、脚キレイにすねやつ。」

ナツキ 698 「普通のニーフンより綺ほりいいからせ、太ももが結構

むちむちになんだよな。せせ。」

ナツキ、主人公の前で両脚を開く。

「せ、お股開こうやつたせ?」

ナツキ 700 「むつかリスベスベの太もも。そのど真ん中に、
バイパンねまく!」

ナツキ 701 「あ、や、全然濡れてねえし。」これは汗だよ汗。
まだ全然その感じやねーから。」

「早くしねどと、脚屈じて寝てやつからな。」

ナツキ、女性器にバイブをあてがわれる。

くちゅり。

ナツキ 703 「はあ、あ……ん、あ。」

ナツキ 704 「そのバイブ、持つてるやつより、なんかエグい。」

「こと」のをえぐられて、思わず低音囂れる。

ナツキ 705 「あ、ああ、は。(低) ああああ。」

ナツキ 706 「よ、よやー。今日こいつせこHシチしたからせ、
おめでー」強くなつてんだよなあ。あせせー」

じきなりバイブレーショノン。

「(低) あ、あああああ。強い強い、振動強い。」
ああああああ。強い強い、振動強い。」

低音で絶頂に向かう。

「せ、せ、せ、せ、あああ～」れ、すぐ～あ～」
イギホホ～「あそばせ～、イギホホ～」

寸止め

ナツキ「ああ、え？」

ひくつく女性器を抑えながら、震えた声。

カツキノ
一加世
ねえの?」

ナシヰハ「なんですか？」

バイブルの「たんだん伝音」

「あ、あああ♪ バイブ來たあ♪ は、あああ♪
はい、⑤スペシ・ル氣持ち♪ ル」♪ そ」ル」♪
すぐトキおす♪ じへ♪ じへじへ♪ イグ、う、♪

寸止め

ナシキ 713 「あい……せ……せお——ぐ。」

ナツキ714 「怒るぞー? お前ぜつてえわざとだろー!」

バイブル

ナツキ 715 「舐めた真似してつと――あ、ああああああ♪
あもぢいい♪ 怒らにやご♪ 怒らないからあ♪
あついぐ♪(低) イキます♪ いくいくいくイグ♪」

寸止め。悲しそうに痙攣。

「あ……ああ……あああああ……♪ いじわるな♪」

我慢の限界で甘い吐息を出す。

ナシナナ七一七

井へじて挑発。でも興奮が抑えられない。

ナシキ 718
「ヒシナしたがつてゐのせ、お湯のせつだらか
ガシナガチに勃起しゃがひト、セーハ」

ナシキ 719
「彼女を攻めとひて、自分が興奮してやるのー！」

バイゴン。

ナシキ 720
「ひや、ああああああ

(低) こいへ、こいへいへいへ

ナシキ 721
「うあああ、またナシキが

甘酸っぱい響きが伝わる。

ナシキ 722
「セ——ハ、セ——ハ」

ナシキ 723
「セ——ハ、セ——ハ、お前がおねだりするもどか
セ——ハ、セ——ハ」

ナシキ 724
「はあ~、アタシからおねだり~」

ナシキ 725
「するわせねえだらか」

ナシキ 726
「かかつて！」こめへ、いのせ、口からせんへ

5-2H_鷹取ふたたび!! 生糞紙メス猫ナシキに巻のナシヌ→連續絶頂イキ狂い撲次わへ

最強の2回目。

船底に繋ぐバトアの極。

ナシキ、 複数なるナシヌで限界を超えて、 まえで
しまへ。

【「」かく、 頭をくじく、 おわせたら、 ピクのヒ動
かしだり】

《◆出図/30cm》

ナシキ 727 「眞士おしだあひーーー。」

ナシキ 728 「」おひなれへ (底) おひなへ、 生糞紙皿ひへ、 「」お
ひなれへー。」

ナシキ 729 「セシクスレーダーですーー。 こねあー。 やかいでやがれ
こー。 (極) こねあー。 なー。 こねあー。」

ナシキ 730 「眞士たへ、 真士たよー。 真士おしだー。 真士おしだ
かひぬへー。」

ナシキ 731 「かひばくやーへやおひへ (底) おああくつ坂井のこへ

おだ眞士るへ (極) こやかおへ、 こくらくらへ

(極) ヤギおかシへ」

ナシヌ。 可なじ痙攣。

ナシキ 732 「せひへ、 おへ、 ああああああ……へ」

ナシキ 733 「おだナシヌへ、 ナシヌヤーおへ、 真次おしだへのこ、
おおえりイナヌベのおへ」

【頭を動かすの終わる】

ナシナ 734

「セツクスするう♪ おまんこするう♪」

ナシキ 735

「申出しも、いっぱいしていいですかからあ♪」

ナシキ 736

「せ、ひ、め、お、ま、ん！」、ずつとヒクヒクしてます。

ナシキ 737

「おちんぽ入れたら、ぜつてえ気持ちいいよ?」

ナツキ738

「ね?
エツチしよ?
おねがい♪
ね?」

ナツキの上に、主人公がゆっくりのしかかる。

◆四回/10cm 近づきながら

ナツキ739

「うん♪
入れて♪
入れて♪」

イナ。ゆっくりすぎる挿入。

ナシギ

「あ……ああ♪ は……もつと♪ 一気に、入れてい
いんだぜ? あ、ああ、は、ん……はあ……♪」

ナシ #742

「四ノ二」

主人翁の憂い

《◆巨圓/0cm》

「あんん♪ れえるれる、ちゅう♪ れえる♪
んキスはいいからあ♪ れえるれえる♪ パコパコ
しろお♪ れえるれろれる、れえる、ちゅう♪」

「トヨタお母さん」、ゆうべから味わいやがってね

限界の吐息。

ナツヰ 746

「はーー♪ 本気ピストンも出来ねえのか?

ナシキ 747

「せあ～」

ナシキ 748

「あ、あれ～。」

ナシキ 749

「激しく、しねばのか？」

《◆正面/10cm また襲われて甘いキス》

ナシキ 750

「ふ、おこ～ れえのれれれ、ちゅう～ もつキス
や～あ～ れるれるれる～ 謎みそじけう～
れえるれえるれえる、ちゅう～」

限界の吐息を何度も纏ります。

《◆正面/10cm》

ナシキ 751

「せーー～ せーー～」

ナシキ 752

「激しくしてみるよ～」のサウayan波～」

〔頑張って煽つてみる。〕

ナシキ 753

「粗チン♪ 変態♪ セックストリッシュ♪
ぱーかぱーか♪」

ナシキ 754

「せんなりせん男～しきねばせんちよろこピーストーン～や
がひひ～」

ナシキ 755

「そんなにじやせ……～」

〔顔色が一気にN女～。〕

ナシキ 756

「全然イケねえじやねえかよお～ いじわる～♪」

(下を見る)

ナシキ 757

「お腹～中、すずめ熱いのこ～～♪」

(顔を見る)

ナシキ 758

「まつむねのあ～」

主人公、猫耳カチューシャをした。

《◆絵画/30cm》

ナシキ 759
「んなんだよお」

ナシキ 760
「それ、猫耳ーー。なんでも持つておいで、
つか、もひ付せねえいひいたるー。」

(ぱこりと横面)

ナシキ 761
「やだー。恥ずかしごー。似合わねえしー。」

エエーベルヌンがれる。可愛らしさがもれる。

ナシキ 762
「あ、ああー。丑ニルベルヌンア。
エイセイカカレバレネバカニー。あ、あ、ああ、は、
ああ……ー。」

ナシキ 763
「ねねだらー。」

ナシキ 764
「せーーー。ねねだらー。せーーー。」

ナシキ 765
「無理ー。セヒトバ無理ー。せーーー。」

ナシキ 766
「ドヤー。猫耳ー。せーー。猫耳、付けたのー。
今度ー。セー。ねねだらー。せーー。ねねだらー。」

ナシキ 767
「せあせあー。やれ貰ヤー。」

ナシキ、猫耳をついた。

ナシキ 768
「ハハ……。あべー、瞑るな……。」

ナシキ 769
「ハハ。ポーズもー。むハー。」

ナシキ 770
「恒井さ、顔の横で……猫のポーズ……。」

ナシキ 771
「こやああ……。」

ナシキ 772
「ハハかー。」

ナシキ 773 「くうふ……ふ、今すぐこども園の歴史を教えてね」「…………」

ナシキ 774 「腰しごお前は、アタシにだけ、これまで藏しましてへ
れぬふ はあふ」

ナシキ 775 「だつたらアタシも、カシロヒサヒばかりはダメだよ
な」

ナシキ 776 「せ——ふ」

ナシキ 777 「分かった……アタシの、はあ、精いつまご、可愛い
おねだり……お前だけに、見せてやる……ふ」

恥ずかしい顔葉。声が震えてしまふ。

《◆左耳/0cm 動きながら》【1:1から下振】

ナシキ 778 「はあはあふ」

ナシキ 779 「1)生人様ふ、アタシの、生處(なめくじ)おまんこ」……
「1)腰と腰の間なくなるまじ、のよーこイケメン
ねちんせで、シシケて、くだせこふ」

ナシキ 780 「せあふ」

ナシキ 781 「お仕置きピストン、レトロヒー、いやあふ」
「主人公、大きく腰を上げて――。

《◆出画/30cm》【1:1から脚葉の振量】

ナシキ 782 「あふ はあふ」

打ち付けた。

ナシキ 783 「あひ、は、ああああああふ、へおふ、ねおねおふ
ありがとい、「ひこせらむ、ありがとい」れこせ
しむ、ねちんせ、わづねちんせ止めないでねふ
おねがいふ、いやあふ、いやあああふ

遠慮のないピストン。

ナシナ 784

「あつ♪ ひつあ、は、あああああ♪」

ナシキ 785

「奥へ おつぐへ おぐ、来るへ おつへ

子宮ぐる♪ おつ♪ おおおお♪ おつおおお♪」

ナツキ786

「『めんらせ』、イキます♪ やつといへん
寸止ぬおまん」「こへん、うん♪ イキまわん
せんとにいつてじこへ。いいのへ。じへん(低) いへ、
いへ、いへ、じへん イキます!」

「おひらひら あつあああああ♪ ぎもぢい♪
ぎもぢ♪ はああああああ♪ あはは♪ イケた♪
イケらあ♪ ああ、あああああ♪ は、はあ
はあ♪」

すぐにピストン再開。

◆图/10cm 正方形

ナシキ/89
——たぬく
ちんぽたぬく——回生攝(アム)

◆出題/30cm 摘れ立ちれる

ナシヰ / あ
あああああ♪

「そうでしたあ♪ 今田は、ずっと、猫のボーズ♪

動かしちやだつめ♪ あああああ♪」

囁ぎながら鳴く。

(『イグ』でいきなり低音に)

ナシキ 793
トニヤ、あ、イグム イギホスウムム

ナシキ 794 「(絶頂) あゝゝゝ あああ♪」

「いや、いやああああ、こゝへ！」ナシヤ795

「（絶頂）ほひふ ほねおおふ」

「えいや、あああ、いや、あああへ」なんなれど、ナシキ797

潮吹きします♪

ナシキ798
「（絶頂）ねいへへ は、ああ、あああへ あああ
ああへ はあ……いのまじイキましたあ……」

◆ハコ/10cm エレベーション

「な」……まださんの……♪

ナツキ800

乳首を責められて可愛らしい声に。

ナツキ 801 「あ～ ひやあああ～ 乳首カリカリだぬ～
今だぬ～ ああ、 あああああ～」

ナツキ 802 「とめたいのに～ 扱いのけたいのに～ ああ～
両手は、 猫のポーズ～ 動かしたら、 叱られちゃう～
あ、 あ、 やーあ～」

ナツキ 803 「敏感な乳首、 ずっとカリカリ～ ただ見る」としか
出来ねえ～」

ナツキ 804 「ううううう～ お願ひ～ そんなイジメないでえ～
ふうくら乳首、 今弱いんです～」

ナツキ 805 「あ、 あ、 あ、 あ、 あああああ～ チクイキくぬ～
やせ～ おまんこと乳首、 回転に、 ぐるぐる～
変なイギ方する～」

(呪律が回らない)

ナツキ 806 「は、 は、 せ～ はいい～ 乳首いじめられたんの、 大
好きです～ ああ～ 無防備乳首、 イク時もゆつて
してく～や～ おねがい～」

絶頂。 男性器が引き抜かれて大量潮吹き。

ナツキ 807 「ひく、 いく、 イグ～ チクイギします～ いぬや～
れい、 イグ～ (絶頂) ひやあああ～ ああ、
ふ、 ふああ～ あああ…… はあ……」

ナツキ 808 「いきなり、 ちんぽ抜くな…… 潮吹き、 めちゃくちゃや
出た……～ (淫) あああ……」

《◆出画/0cm 出でやながる》

ナシキ 809

優しいキス。

「休憩……わすがに休憩くれ……♪」

ナシキ 810

「わすく、れる、ちゆく、わすく、れる、
ちゆく、れるく」

乳首なでなで。優しく慰めながらキス。

ナシキ 811

「あ、ばかく、休憩ついたるく、く、乳首なでなで
だぬく、れるちゆく、優しくともだぬく」

ナシキ 812

「あく、れる、く、ちゆく、れるく、
く、れる、く、ちゆく、れるく」

キスしながら軽く乳首イキ。潮吹きもこゝれい。

ナシキ 813

「くく、ちゆく、く、れるちゆく」

ナシキ 814

「ねめくじ、ペロリとねくじ、く、乳首だけ
潮吹きするもくくなつわがいた……むく」

《◆出画/10cm》

ナシキ 815

「血分で、うぶ、分かつたく」

ナシキ、血分で乳首をこじる。優しく慰め。

《◆出画/30cm》

ナシキ 816

「ん、ああく、アタシの乳首、やばく、あく、
もうイキく、んく、イジメられまくい、すばく
弱くなつてく、あ、じく、じく」

やるやかな絶頂。小ちい潮吹きが連続で出る。

ナシキ 817

「あく、ああく、せ、せあく、あああく」

「あいじん脂油をこじりしる。

ナシヰ 818

「んぐ、 嘔吐が、 脂油もわな、 あい、
木十一、一止もやせば。」

ナシヰ 819

「へあ、 『社人様のちんせ、 ピシキヤニヤニロリ立つ
てぬ、 滅吹きがかかる、 おぬまの木スちゃんせ
だ……。』

ナシヰ 820

「あ、 おたじく、 鈴笛で、 滅吹き、 しおり、
ちんせにかかるもひ、 ああああ。」

「まだぬやかな絶頂。 小さじ滅吹也。

ナシヰ 821

「あい、 ああい、 あ、 ああ、 ああああ。」

ナシヰ 822

「ねじせじえんせおいやくなひゆ。」

ナシヰ 823

「興奮、 しててのか。 アタシ、 そんな回戻じか。」

「ぬずかしこじれやれ。」

ナシヰ 824

「んくく、 シヤあ、 あと一回、 サーピスな。」

ナシヰ 825

「せ、 ものねが乳首、 血分で潤ませていて、
おひ、 すぐ滅吹きしながむ」と、 瞳で、
ずつと睨みて、 ああ、 せ、 せ、 あ、 あああ。」

ナシヰ 826

「死ぬせじぬすかしらの」、 なんだ、
なんだ、「こんな滅吹ちこころだよ。」

ナシヰ 827

「お惣のせじ、 金縛お惣のせじだ。」

ナシヰ 828

「我慢大ヒン滅吹セド、 ぐいぬめぐわよロコロこわんせ
しゃがひて、 (轟) あ、 チクイキツめあ、 あ、
ああ、 せ、 せ、 あああ……。」

《◆出囃/10cm 出でわながく》

ナシヰ 829

「せあ、 せあ。」

女性器に男性器があてがわれる。

「ああ、捕まつたまつた～」

「おちんぽすりすり、本氣ピストン、準備してる」

ナシキ 832 「1生人様、おおえ！」に種付け、したくなつたんですか～。」

ナシキ 833 「メス猫のアタシに、限界あつまつたか？ せせ～」

(横を回して擦し舐めかしゃつか)

ナシキ 834 「しょーがねえなあ～」

(顔を見て)

ナシキ 835 「今口せ、ヨーハト猫でこいやねか～いやれ～」

【1】かる小声、ねじふる

《◆左耳/0cm 聞かながい》

ナシキ 836 「止め……～」

ナシキ 837 「1のぶいドガヘヒスの、叫び声にならぬ声だ
生懶感おもえ！」と、じらすじらすじらすじら
種せきulloトヘル、コレ止め、止マーヘ」

(ぞれぞれ囁き)

ナシキ 838 「1生人様へ、愛してゆるやへ おめ～」

興奮した主人公、がばっとナツキを押さえ込む。

【「」から普通の重量】

《◆出血/10cm カゼヤハ動きながる》

ナツキ 839 「あ、あは～」

すぐ挿入。一秒2回の重たいピストン。

アヘ声/氣味。

ナツキ 840 「ああああ～ あ、あ、は、あ、ああああ～
が～～れすめだつての～ まだ何時間もあるだろ?
お～～ お～～ ああすげ～ ああ～」

ナツキ 841 「精液作りすぐて、金玉癪かつたりしてな～

あはは～ あ～～ ああああ～ お前専用の、
メスまん～なんだから～ ん～～ 全部中出しすりや
いいじやん～ ん～～ んあ、は、あ、あええ～」

ナツキ 842 「まさか、一回や二回で、アタシをおとせると呟つて
んの? それ」そザ「ちんぽだら～」

ピストンがより重たくなる。

ナツキ 843 「ねい、おおおお～ わんぱくらんだ～ なんだよ～
わ～きは全然ノッてくんなかつたくせに～」

「お～～ ああやぐ、～れ負ける～

お～～ まん～」イク～ イグ～（絶頂）お、おおお
おお～ は、はあ、ああ～」

ナツキ 845 「粗チソ～ト～」おんな～（低）あ、ああ～

「主人様のわんぱく、気持ちいいれひ～～」

ナツキ 846

「んお～ 奥～ 奥、囁く～ ね～、おひ～ 好き～
そのピストン好き～ ねい～、やつぱ！」田人様は、
イケメンちゃんぽだ～ はせ～、あお、おおお～」

真りおりキス。奥に囁くピストンもしなが～。

《♦正面/0cm》

ナツキ 847

「ね～、ん～、わあふれる、れるれるれる、んお～
れるれる、れえるれる～ せ、おひ～、わゆうれるれ
る～、れるれる、ん、お～、れるれるれるちゅ～」

ナツキ 848

「それ反則～ わゆーしながら～ おひ～

なんも考へら～ねえ～（低） ああ、あああああ～

ナツキ 849
「んちゅ～、れえるれる、ん、れえるれるれるれる
れぬ～、ん～、れえるれる、れるれるれる～」

（キスで舌を絡めながら）

ナツキ 850

「おおお～、おおおお、お～、おおおおお～」

（口内をかき回すキス）

ナツキ 851

「！」おまけ！おまけ！おまけ、くちゅくちゅくちゅくちゅく
ちゅ～」

ナツキ 852

「ふあ～ さあ～」

ナツキ 853

「キス無理～、ずいといキッぱなし」なんの～
無理～ でも好き～、無理～ 無理～ 大好き～」

ナツキ 854

「はあむ～、れ～るれるれる、れるれる～ だいひゅき～
れ～るれる、ひゅき～、れるれる～ だいひゅき～、れる
れる～、ひゅき～、イグ～（絶頂）ん～、れる、ん～
れる、ん～、れ～るれ～、ふああ～」

《◆正面/10cm》

ナツキ 855
「種付け準備、できましたか? 上つてきましたか?
はあはあ♪ 猫のポーズで、最後のおねだりします♪
はー♪ (可愛く) 『主人様あ♪ おまん』種付け、
してほしいにやあ♪」

絶頂へ向かう一番激しいピストン。

ナツキ 856
「ああ♪ あ、あ、あ、あ、あ、は、ああああ♪」

ナツキ 857
「やつぱすげえハズいい♪ 頭ほんぽんしろ♪ なで
なでもしら♪ こやああ♪ こやああ♪」

《◆正面/10cm 激しいピストンと貪りキス》

ナツキ 858
「んれるれる♪ んんん♪ れるれる、ちゅ♪ れる、
んん♪ れえろれる、んおおお♪ れるれる、れるれ
るれる、ん、ん、れるれるれる、ん、ん、は♪」

《◆正面/10cm》(絶頂へ畳みかける)

ナツキ 859
「あ、あ、あ、あ♪ 孕ませて、『主人様♪

びゅーびゅー、全部♪ 全部中出し♪ 種付け♪」

(絶頂に向かつて低音低く)

ナツキ 860
「ひあああああ♪ ああああああ♪ アタシもイグ♪
一番やばい潮吹きする♪ じぐ、じぐ、じぐじぐ♪
イグイグイグイグイグう♪ イギますう♪♪♪」

真っ白になる絶頂。息をするのがやつと。

ナツキ 861
「(絶頂) おおおおおつ♪♪♪ おつ♪ おおお
おおお♪ おおおお♪ 全部、飲んでます♪ おまん
♪で飲んでます♪ はあ、おつ、んおお♪ おつ?
まだ出でるす♪♪♪ おつ♪ おへえええ♪♪♪」

余韻。とひかた頃。ゆいへりと懸を揺らすナシキ。

ナシキ 862 「ああ～♪ すげ～♪ まだちょいと、ひめーつて

出でての～ ああ～ ゼービぶ飲みますかいね～
「」注人様あ～♪」

ナシキ 863 「ああ～♪ (延) あ、またイグ～ おひ～♪

ああ～♪」

ナシキ 864 「う～なにこ～♪ ちょいと」せしもしたあ～♪

ナシキ 865 「新しいの、入れてもいいわね～♪ はせ～♪」

◆ 出画/0cm 懐しきキス》

ナシキ 866 「はあ、はあ……♪」

ナシキ 867 「ん……ちゅ、あ～……ちゅ～♪ れる、ちゅ……

ちゅ～かゅ～、ちゅ～♪」

ナシキ 868 「やだ～、寝ない～、もいと夜属する～」

ナシキ 869 「ちゅ、ちゅ～♪ れるれるれる、ちゅ～♪」

ナシキ 870 「お前がおねだりやせたんだろお～♪」

ナシキ 871 「あんな恥ずかしこねだり、一回経験しちまつた
～……やつね嫌に行かね～♪……♪」

ナシキ 872 「む～♪ ちゅ～♪ れる、れる～、ちゅ～♪」

ナシキ 873 「生意氣なメス猫を、養う覚悟せ出来てのつか～♪」

ナシキ 874 「くあ～、姫さんの卑べよ～、つたぐ～♪」

嬉しくてキスおねだり。

ナシキ 875
「んー♪ ちゅう♪ れる、れる、れる、
わわ♪」

ナシキ 876
「ま、美味しいの毎日作ってやつか♪♪」

ナシキ 877
「えへ、よひし〜な♪」

《◆左耳/0cm 動きながら》

ナシキ 878
「それじやあ記念にい」

(小振)

ナシキ 879
「あと十回♪ もう少しうまこいや♪♪」

《◆正面/10cm 動きながら》

ナシキ 880
「おお〜。」

ナシキ 881
「おやかばでてるなんぞ〜♪ わねよな〜。」

(煽りっぽく左右に動く)

ナシキ 882
「おやおやあ〜。攻めがスタミナ切れとかカツ♪ わ

ら〜♪ 白痴どもの顔、どうしちゃったのかなあ〜。」

ナシキ 883
「あははは♪」

《◆正面/0cm 襲われキス》

ナシキ 884
「ふむ〜♪ え〜♪ ふふふ♪ れるれるれる♪
ちゅれる♪ れるれる、れるれるれる♪ ちゅる♪」

《◆絵画/10cm》

ナシヰ 885

「『おへなあへ まだ出癡城な』」と叫んでいたおへ
「ご感心終わらぬひなムーハ。

ナシヰ 886

「せせめ、 まーうまーうま、 うひ土トハズモヘ。」
やいせつ騒。

ナシヰ 887

「教諭」仕人様へ

ナシヰ 888

「ハ、 は二へ、 は二へ。」

《◆絵画/30cm 摺れやうつへ、 くわうじ画》

ナシヰ 889

【（）かの娘女を回さる】

「こや、 だかへー、 寝バックせやもひゃー。」

ナシヰ 890

「うへ、 繼ぐねトモー。」

ナシヰ 891

「ハベー。」

ナシヰ 892

「ベイフー。 間マー。 ニキノローター。」

也へなトイトムが一瞬立躊躇だす。

《◆絵画/10cm 炎びやながい》

ナシヰ 893

「あ、 ああ、 ああ、 あああ……。」

ナシヰ 894

「あせへ、 終わったあ……。」

ナシヰ 895

「ねねへへへ、 ハヘへへへ、 ハヘハヘハヘヘ」

マーク

本物と本物とを揃えやがれでした。